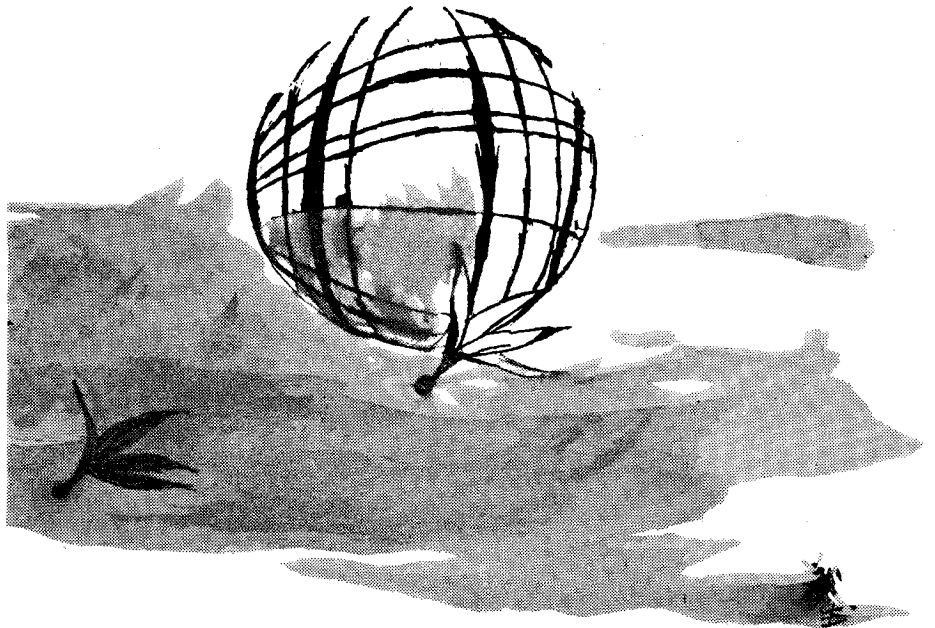


聖徒の道

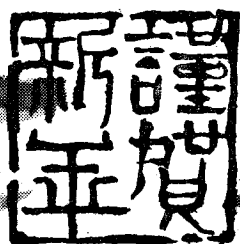


末日聖徒イエス・キリスト教会

聖徒の道一月号 目次



予言者のことは「家族随想」……………	デビッド・O・マッケイ……………	3
伝道部長メッセーじ……………	ポール・C・アンドラス……………	6
末日聖徒イエス・キリスト教会幹部		9
年頭雜感 始めに言あり……………	渡部正雄……………	12
支部だより……………		15
エンサイローレル教科課程	神が近よりすぎた……………	16
練習の讚美歌……………	眺めがすばらしい……………	21
英会話テキスト……………		25
子供日曜学校ガイド……………	ルツとボアズの物語……………	26
日曜学校ガイド……………		28
MIAリーダー……………		31
末日聖徒イエス・キリスト教会歴史料		34
………ジョセフ・フィールディング・スミス……………		38
アロン神権者 学校課程「仕分の一」……………		42
「安息日を聖くせよ」……………		43
「断食日と断食献金」……………		45
「神権とは何か」……………		46
第一長老定員会……………		48
メルケゼデク神権……………		48
伝道本部だより……………		61
クイズルーム(3)……………		63



神殿をたずねて(1)

ソルトレーク神殿

ユタ州ソルトレーク市に在るこの神殿は西アメリカにおける最も著名な建物である。

ソルトレーク神殿区域は一八四七年七月二十八日に選定され、その時ブリガムヤング大管長は同僚と共に歩いてゐたがその杖を地につけて、

「ここに我々は我々の神の神殿を建てよう」といった。

一八五三年の二月十四日土地の購入れがなされ、

一八五三年四月六日 起工

一八九三年四月六日にウイルフォード・ウッドラフ大管長により献堂されるまでその建設に四十年間かかった。



1月号表紙—ソルトレーク神殿



私は家庭をあらゆる善い影響を放射するもとであると
見ている。もしもわが国の家庭の父親が一人のこらず父
親たる資格を具え、母親が一人のこらず立派な母親であ
ったなら、わが国の法官は無法律者から社会を守るため
に、今よりずっと仕事が少ないことであろう。

家庭は愛によって永続する。あなたが自分の仕事を
おろそかにしようと、自分の家畜をおろそかにしようと、
充分の収獲を得られなくとも、あなたの子供たちの愛を
占めるように心を用いよ。

わが教会の会員の家庭で、きちんと秩序の整っている
ところでは、例外なく、幼年時代の喜びに充ちた自由の
精神を祖国を敬まい神を礼拝する方向へ導いている。而
して誰でもみな家庭の中に永遠の交わりと永続する生
活の中核があることを知っている。

アロン神権者の働らき、神学研究のクラス、日曜学校
MIAのいろいろな活動、初等協会、以上はみな青年を
強め導びくために設けられている援助である。しかし、
これらはわが教会の青年の生活の中にある大いに大切な
要素であるとは言え、家庭の中にある両親の永続する影
響力にとって代ることのできるものは一つもない。

両親と子供たちとの関係は、子供たちが近隣、教会、

一層大きな形の社会と関係をもつ
ようになるに従い、理想的の市民
権を遂行することができるような
ものでなければならぬ。あなた
を子供たちから引はなすことを要
求するようないろいろな活動につ
いては非常に注意されたい。善良
な市民となる秘訣のもとには家庭で
ある。神を信ずる信仰、世の贖い
主である神の御子を信ずる信仰、
わが教会の組織を信ずる信仰、こ
れらをお子たちの心に吹きこむ秘
訣のもとには家庭である。家庭が信
仰の中心である。

家庭はまことに社会の根本単位であり、人の親たるこ
とは神たることに次ぐものである。もしも天使が訪ずれ
たなら、喜んで逗留するほど私たちの家庭を心して整え
ようではないか。

立派な家庭をつくりあげる技術にすぐれているくらい
人生に於ける高い業績を実感することのできる方法は何
にもない。このような家庭に於てこそ人は地上で天国
の風情を味わうことができる。

予言者のことば

「家族随想」

デビッド・O・マッケイ

あなたは力強く雄々しい国民が欲しいと思われるか。さらば、あなたの家庭を清く保ちたまえ。あなたは法律に違反する者、罪を犯す者の数を減らしたいと思われるか。さらば破綻した家庭の数を減らしたまえ。子供たちが高尚な性格の持主になるか低級な性格の持主になるかをきめるのは主として家庭であることを、今こそ文明諸国の民は悟るべきである。

従って、立派な家庭をつくることは両親ならびに国民の目指す至上の目的でなくてはならない。善い国民をつくる秘訣は家庭にある。

* * * * *

私は神が、家族関係と家庭について、それが神聖なものと永続することに関し、教会員に教えを授けたもうたことを称えたてまつる。私たちは今非常に重大な時代に生を受けている。私たちは今四方に動揺の色があるのを見ている。世の中の人々は見たところ、かつてないほどに攪乱されている。この世界的混乱のさ中に於いて、社会の根本的制度である家庭も脅威を受けている。人生に於ける最も高い理想の一つは、教会員ならびに国民の家庭を不幸な目に逢わせぬよう嚴重に守ることである。

* * * * *

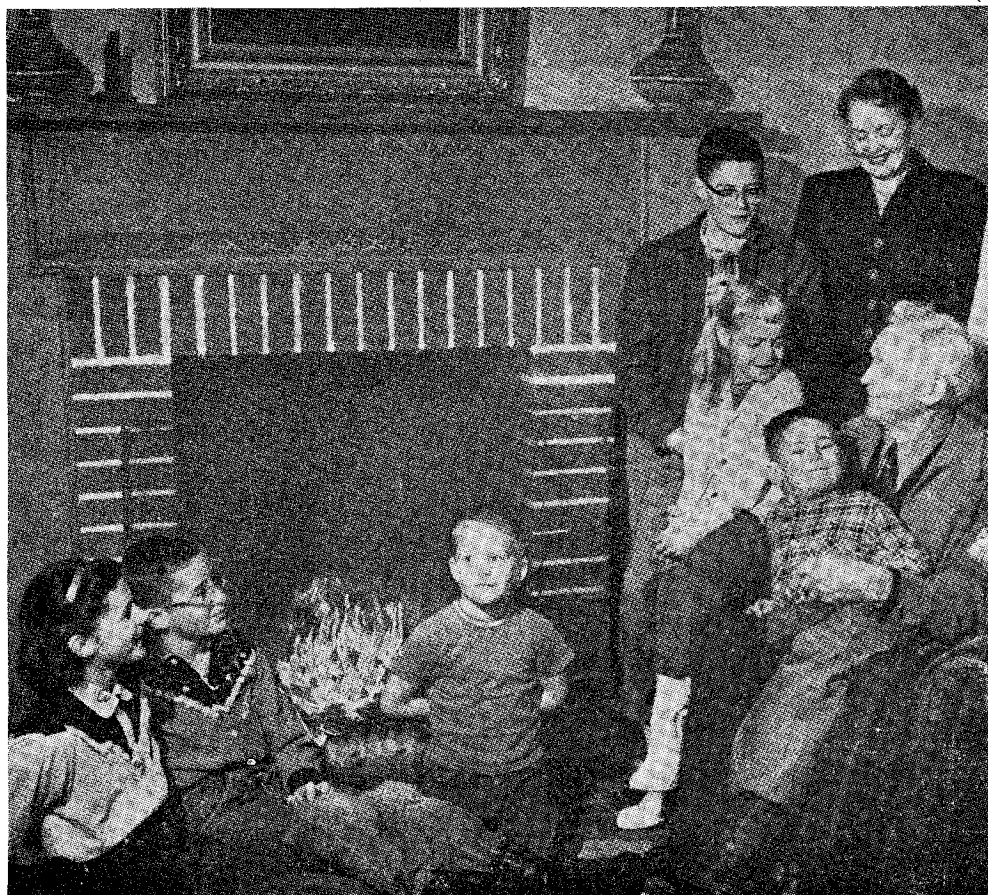
あなたたち末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は、あなたたちの家族のきづなが永遠であることをはっきりと知ってい

る。末日聖徒の家庭に此世かぎりのものは一つもない。末日聖徒の家族関係に一時的のはかなさという要素は一つもない。

* * * * *

私は、嬰兒の時代から現在に至るまでの私の家庭生活が、私に道徳的の基準と宗教的の基準とを与えるためにまた私の生涯の針路をきめるために最大の要素となっていることをちゅうちょせず断言するものである。言葉と行為とに表われた誠意と礼儀と言行一致と、自分の利益を思わないことは、二つの家庭すなわち私の両親の家庭と私自身の家庭とに於ける私の両親およびそのほかの人々の生活に例証されており、しかも家庭を保護し指導するものであることが解っている有力な美德である。







伝道部長

ポール・C・アンドラス

伝道部長メッセーじ

ポール・C・アンドラス

この年の始めを迎えるに当りまして、私は当伝道部に属する会員各位に対し、主の予言者である大管長が教会員の一人のこらずは毎年少くとも一人もしくはそれ以上の改宗者を得てもらいたいと前から言っておいでになることを想い起していただきたいと思うのであります。

デビッド・O・マッケイ大管長は、千九百六十二年中に一人もしくは一人以上の改宗者を得て教会に加入させてもらいたいと、私たち一人一人にたのんでおいでになります。私たちは予言者である大管長の声に喜んで従いましょう。私たちは大管長のおたのみになった通り喜んでいたしましょう。もしも教会員が一人のこらずこの通りするならば、伝道部の会員数は千九百六十二年中に七千人から一万四千人へ飛躍的に増加し、また全教会員数は約三百万人から約四百万人へ飛躍的に増加するであります。救い主の再臨に備えて、私たちは毎年この伝道部へ何万何十万という数の改宗者を教会へ加入させる必要があります。

また全教会として毎年何百万という数の改宗者を教会へ加入させる必要があります。この仕事を完遂する一番よい方法は、教会員の一人一人が、毎年一人もしくは一人以上の改宗者を得てこれを教会に加入させることであります。

私たちは、マッケイ大管長がおたのみになっていることにどうしたら成功するでしょうか。多くの改宗者を教会へ加入させることに成功するには、まず (一) 私たち自身が福音の教えを実際に行つて模範を示すことであります。次に (二) 人々を招いて私たちの教会について知らせることであります。最後に (三) 私たちの教会のことが知りたいと言う人々に自分が直接に教えるか、もしくは宣教師から教わるように取りきめをすることです。福音の教えを実際に行つて模範を示すことはもちろん必要であります。模範を示すだけで改宗者をひとりだに教会へ加入させるわけには行きません。模範を示すならば、ほかの人々は教会員を尊敬する念を起し、その上一層教会について知りたいと思ひまた喜んでそうするにちがいありませんが、善い模範を見せただけでは一人も改宗させることはできません。改宗させるためには、その人々を教えずにはなりません。この度教会は新しく「全世界標準の改宗者教育制度」を採用して、今これを全世界で行つております。この「教育計画」はすでに日本語に翻訳されていますから、一部百二十円で伝道本部から購入することができます。私は教会員一人一人が

この「教育計画」の一部を買い求めて、私たちの教会について知りたいと思っている親戚友人たちのために利用されることをお勧めいたします。この「教育計画」は求道者に読んで聞かせただけでも効果がありますから、内容を暗んじるまではそれを読んで少し教えて下さい。

もと、教会員の中には親戚や友人を招いて福音の研究をするのをいやがった人もありましたが、これはその会員が友人や自分自身が気まずい思いをしないように話の主題をもってくる方法を知らなかったからだとい私は思います。ところで、今は誰も気まずい思いをせず、また非常に簡単な近づき方ができていますので、誰でもみなこれを使って効果を上げることが出来ます。

教会員はその親戚もしくは友人に向い単に「私がモルモンであることは知っていますね。モルモンについて何を知っていますか」と言うだけです。この時教会員は、見込みのある求道者が返事をするまで待つて、それから「もつと知りたいと思いませんか」と言います。もしも「知りたい」と言う返事であったなら、そこで教会員は家庭集会をいつするか取りきめをするべきです。もしも返事が「知りたいと思わない」であったなら、教会員は単に「では、多分いつかもつと知りたいとお思いになるでしょう」と言います。このように言うことによって、その会話は品よく終り、教会員も求道者もどちらも気まずい思いをすることはありません。このような近づき方をされている驚ろくほど多くの人たちは、この教会のことをもつと知りたいと答え、その大部分がづいて改宗をし、バプテスマを受けています。従って、一人のこらずの会員が、この方法を使って親戚友人を招き私たちの教会を研究させるように勤めます。

この教会についてもつと知りたいと思っている人を一度見つけると、あなたは自分自身でその人に教えるか、もしくは宣

教師と取りきめをして教えてもらうことができます。もしも自分で教える確信がないと思ったら、ためらわずに宣教師を呼んで下さい。あなたが宣教師を呼んでその人に教えを授けてもらうときでも、必ずその家庭集会へ出席して、この教会がまことの教会であるというあなた自身の証詞を下して下さい。もしもあなたの親戚友人で、私たちの教会について知りたいという興味を持っているかも知れぬ人があるなら、必ずその住所姓名を宣教師に知らせ、またどこでも必ず宣教師へあなた自身から紹介をして下さい。あなた自身が教えてもあなたの親戚友人を宣教師に紹介しても、あなたはマッケイ大管長のおたのみに応じていらっしゃるのです。このようにして会員は一人のこらず宣教師になることができます。

今年から会員と宣教師は一人のこらず、教会へ加入させた改宗者一人一人について証明書と授与されます。これは会員が教えを授けたか、または宣教師と会うように紹介したかどうかどうかを証明するものです。この証明書は改宗者獲得に対する「デビッド・O・マッケイ大管長の賞状」と言われ、その上には必ずと目につく大管長の写真がのっています。この賞状の上には、授与される会員の姓名がのっており、伝道に一つ一つ部長の署名がしてあります。教会員の一人一人は、今から毎年この賞状を一通もしくはそれ以上授与されるべきであります。

「教会員は一人のこらず宣教師である。当教会の会員は一人のこず、毎年一人もしくは一人以上の改宗者を得て教会へ加入させるべきである」というデビッド・O・マッケイ大管長の言葉を忘れないようにして下さい。千九百六十二年中に、私たち一人一人は、予言者である大管長のこのおたのみを完遂しましょう。本年中に、あなたは何人の改宗者を教会へ加入させて下さいますか。

末日聖徒イエス・キリスト教会幹部



大 管 長 会

大管長 デビッド・O・マッケイ



第一副管長 ヘンリー・D・モイル



第二副管長 ヒュー・B・ブラウン



エズラ・タフト・ベンスン



マーク・E・ピーターソン



デルバート・L・
スティプレイ



ジョージ・Q・モーリス



ホワード・W・ハンター



ゴルドン・B・ヒンクレイ

十二使徒会評議員会

七十人最高評議員会

リーバイ・エドガー・ヤング
S・デイルワース・ヤング
ブルース・R・マッコンキー
アントン・R・アイビンズ
ミルトン・R・ハンター
マリオン・D・ハンクス
A・スイオドー・タットル

大祝福師

エルドレッド・G・スミス

管理監督会

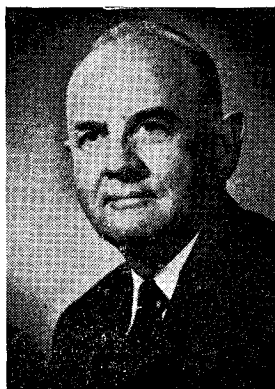
ジョン・H・バンデンバーク
ロバート・L・シンプソン
ビクター・L・ブラウン



ジョセフ・
フィールディング・スミス



ハロルド・B・リー



スベンサー・W・
キンボール



マリオン・G・ロムニー



レグランド・リチャーズ



リチャーズ・L・エバンズ

十二使徒評議員会補助

アルマ・ソネ

エルレイ・L・クリスチャンセン

ジョン・ロングデン

スターリング・W・シル

ヘンリー・D・テイラー

ウィリヤム・J・クリッチロー・

ジュニヤ

アルビン・R・ダイヤ

ナサン・エルドン・タナー

フランクリン・D・リチャーズ

スィオドー・M・バートン

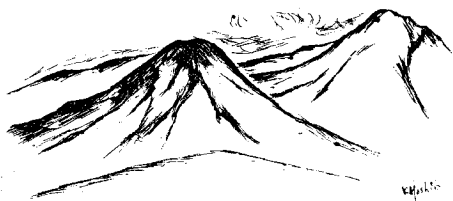
ボイド・K・バックー

ソーブ・B・アイザクソン

年頭雜感

始めに言あり

渡 部 正 雄



かなかふるっている。

私は若し不幸にして米ソが戦いを始めたら戦場に行つて声を大にしてお互いは兄弟である、つまらない争いを止めて仲よくしようじゃないかと、ロシヤ兵士に聞かせてやるのだ。と真剣な顔をして言っている。正に伝道の精神である。彼は授業を始めた頃一度休み時間に、コーヒー飲み私を誘つたが私がモルモンだと言つて断ると、びっくりして、それ以来、単に先生としてだけでなく敬愛の念を示してくれるようになった。正に教師から祭司への昇格だ。そして或日、二時間目の授業を始めようとした時、彼は突然口を開いて、先生今日は私たち生徒は皆モルモンになりましたよ。と言う。休憩時間にコーヒーの設備がしてなかったらしい。

ベンソン長老は、曾てモスコで数千のロシヤ人が涙を流して自分の説教を聞いているのを見てロシヤ人も世界の民と同じく、神を愛する兄弟たちだと言われ、再び伝道の為に訪れたい希望を述べて居られる。

宣伝ふる者なくば争で聴くことをせん。

宣教師が素晴らしい日本語で街頭伝道をしている時、私たちは「ああ美しきかな、善き事を告ぐる者の足よ」と録されたる聖句を思出す。

大初に言あり、言は神と偕にあり、言は神なりき。

「ズラストヴィチエ」(今日は) 懐しいロシヤ語で挙手の礼をして突然私の部屋に入つて来た将校、私はガガーリンでも来たのかと思つてびっくりして見たら私が曾てロシヤ語のクラスで教えた中で最も熱心であつた懐しいウオールズ君であつた。彼は高等学校時代にケネディー大統領と同じクラスだったそうでもう四十四才位だがなかなか向学心に燃えて居り語学も、日本語、フランス語の外に今、ロシヤ語を勉強している。彼のロシヤ語を学び始めた動機はな

共に一つの神の言を語り合っていた時に、人間社会に争いはなかった筈だ。パベルの塔を建て高慢になった人間が神によりその言葉を乱されてから争いが絶えなくなった。この惱める罪人を救う為、天の父はその一人子を世に下し給うた。

言は肉体となりて我らの中に宿りたまへり我らその栄光を見た、実に父の独子の栄光にして恩恵と真理とにて満てり。

世界平和を念願したポーランド国籍のユダヤ人、ザメンコフは遂にエスペランド語を發明し、この世界語の普及によって世界平和の大理想を実現しようとしている。エスペランティストたちはこの信念と理想に燃えて勉学にいそしんでいる。

古来我が国では、ことだまの国と称して言にはみたまがこもって生きているものと考えられている。主は、我は道なり真理まことなり、と言われたが、真理（まこと）は誠（まこと）でことの真なるものであり、誠を宿している人を尊（みこと）と呼び、尊は神と呼ばれたことは大國主尊は又大國主神と呼ばれた一例を見て明らかである。そしてこの神なる尊なる口から語られるからことの葉、言葉となったのである。神代時代に日本で語られた神代語なるものは世界に共通したものであると神代文学の権威者、武内巨磨（武内宿弥の六十六代目）氏は主張している。天孫降臨の高天原はアルメニアにタガーマという地名があり、曾てアブラハムの住んだメソポタミヤのハランのハラが結びついて出来た言で高天原はパレスタインの近くであったと言われ、神武天皇の即位した橿原はバイカル湖畔にカシ河という河が流れて居り、そのカシ河の流域であったという。日本人が天皇のことを、すめらみかど、というのは聖書に記さ

れている通り、東方に散乱した。ルベン、ガド、マナセの一部の、ガドとスメル文化のスメラと結びついたものだという。現に日本人の中には今日も曲瀬（まなせ）という姓があり、東京にはまなせ橋という橋もあるようだ。そうすると神代語なるものはヘブライ語の変形したものであって日本人の主体は小谷部氏の言われる通りイスラエルの正統であるのかも知れない。

とにかく言が一つであること又はたとえ異なっても互に相手の言を知り合うことが誤解と争いを無くする先決問題である。先づ相手の言を覚えることによって相手を理解することが出来る。そして相手を理解することは、おのづから相手を受容する結果となる。私は若い時に支那語、ロシア語を勉強し、中国人、ロシア人と共に数年間暮らしたので、今でもこれらの隣人を心から愛している。特に神を知らない指導者の下に、神が人間に授けた最大なる賜、「自由意志」を享受出来ずに居る同胞を可愛そうに思い、一日も早く、彼らが私たちと同様に神の子として救われるよう望んでいる。二十五年程前私がロシア人の家庭に宿っていた学生時代、よく家族の者に教会につれて行かれた。そして下宿の息子が、キリストを知らない者は人間でないから可愛そうだというので、当時神道に精進していた私は、日本にだって立派な神がいるし神社があるのだといきり立って口角泡を飛ばし遂に口論となるので宗教の話はなるべく避けることにしていた。けれども私はなぜその時、彼らの信ずるギリシャ正教に改宗させられなかったかを今ははっきりと知る。主イエス・キリストを愛し、初代教会の真なる教会なることを主張したが故にその晩年に於てギリシャ正教派から破門されたが大文豪トルストイ

は、さすがに末日の回復された福音を持つモルモン教会の前途を見透していたようだ。宗教は阿片なりと言って、革命によってギリシヤ正教が一掃されたのは、やがて完全な末日に回復された福音を受け入れる為の準備態勢ではなからうか。ロシヤ語で日曜日をヴオスクレセーハニ（復活）というが、今でもセブンス・デイ・アドヴェンティストやユダヤ人たちが土曜日を安息日として守っているが一週目の初日に主が復活してから、多くの教会でこの日を安息日として教会に集って礼拝して多いるのを見ると、ロシヤ語の名称はこの聖日の由来を知るのに最も適したものと云へよう、そして私は革命後ソ連になってこの名称を変更したということを知れない。却って現在のソ連の二大新聞の一つである「プラウダ」（真理又は正義）などで盛んに靈感（ヴドフノヴェーニエ）神霊（スヴァトイ）などという語を使っている。私は学生時代に面白いプラウダの記事を教材として学んだことを今でも憶えている。その記者はレーニンのことにして書いていたが、神という言葉を使えば、レーニンに叱られるかも知れないがと前おきして、レーニンの国民を愛する愛情は神の愛に近い、と言っていた。神を信じないという唯物主義者も、神は愛なりという聖句は無条件に受け入れているようだ。又中国語で日曜日のことを禮拜日というが、これも中共政府になって変えたと言うことをまだ聞かない。そして、おのれの如くなんぢの隣を愛すべし。

という第二の誠命は、少くとも国民の間では実行しているようだ。私は周恩来が曾て国民党の掃共工作によって千哩の山野を逃避した時、靴を穿いていない一兵卒を見つけて自分の靴を与え、自分は足から血を流しながら歩いたという記録をよんで、彼らが国民に敬愛

されている所以を知った。主は言われた。

主よ主よといふ者ことごとくは天国に入らず、ただ天にいます我が父の御意をおこなふ者のみ、之に入るべし。

若し末日聖徒なる我々にして同胞愛の実行に於て彼らに劣るところあれば私たちは如何なる顔を以て主にまみえることが出来るであろうか。

牛年も早や暮れて、又新なる年、寅年を迎えんとしている。聖書にも

穀物を碾す牛に口籠を繋ぐべからず。

と記されているが働らくことを誇るフルシチョフの一行らが、前年米國を訪ねた時、世界に有名なソルトレーク市を称讃しモルモン教徒の勤勉さを我々の模範だと言って激賞したと聞いた。私は彼らが故國への土産にベンソン兄弟からもらって行った六冊のモルモン經典を読んでいるように期待している。

そして、御成功を祈ります。と言って宇宙飛行場の宇宙船に世紀の勇士ガガーリンを神に祈りながら見送った彼らが同様の熱情を以てこのモルモン經典をロシヤ語に訳する日の一日も早く来たらんことを、そしてそれが彼らにとって何よりの急務であることを、そしてそのことによってのみ彼らが念願する真の世界平和がもたらされるものであることを声を大にして叫ぶ次第である。そしてこの新しく迎える寅年が世界の同胞（はらから）がその目的に向って一歩前進する年であるように年頭に當って心から祈る次第である。

名古屋支部

○十一月三日次の三名のバプテスマあり

高橋克幸、竹中正征、大塚勝

(犬山にて)

○十一月十一日元名古屋支部に在籍していた故人となった山田千鶴姉妹（東京支部の現籍）の葬式を挙行しました。

○十一月十九日西中央地方部大会（ブロッグ大会）で土田勝兄弟が、清水地方部長により長老に按手聖任され、同時に支部書記の責任に按手されましたが、新しい名古屋支部長会は次の通り。

支部長 柳田藤吉

第一副 古芝健三

第二副 山田勝康

書記 土田 勝

○宣教師の移動は次の通り。

転入 西支部よりワイン・マアク・カイリ

ケア長老

転出 京都支部にボビー・ディーン・ウオカ

ー長老

東京南支部

私たち南支部の高校生はみんな元気な若人

です。去年の九月に高校生だけで会議をひらき、来年は高校生が少なくなるのでどうしたらよいかと云うことに付いて話し合い、その結果、我々が高校生獲得のために伝道しよう。と決ったのです。それにはまず福音、教義等がある程度知っていなければいけないので何か聖典を研究しようと云うことになり、種々と考えて新約聖書を選びました。ここから当支部高校生の新約聖書研究会が発掘したので。研究会は次のようにやっています。

会は第二、四、五日曜の聖餐会の後一時間です。第一は支部の指導者会ですが今迄なるべく時間をみつけてやって来ました。

まず開会の祈をやり、その日の会の司会者を決めその人に従って一章を五節位ずつに区切って順に読んでもらい、読み終わったらその章に關しての質問を受けます。それが出揃った頃各質問事項に対してみんなから意見をききます。種々と異った意見が出、なかなか興味があります。種々と考えてある線を打出します。中にはどうしてもわからないむずかしい物がありますが、そういうのは司会者が各人に割当次の会までに調べてくる様に割当、次の会で発表してもら

います。家で一人で読んでいる時などついとばしてしまふ所もみんなできると気が付かなかったような所が出てき、一人でやるよりずっと興味深く研究することができま

東京中央支部

十月のバプテスマ

竹原 孝雄

栗田 由利

板垣 猛

竹村百合子

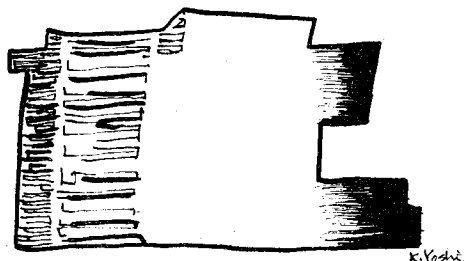
後藤 永治

石合多美子

安藤のぶ子



神が近よりすぎた



ジョセフ・スミスが見た最初の示現は、末日聖徒イエス・キリスト教会のもっている最も挑戦的な根本教義である。この示現は主イエス・キリストが現実に復活して居りたもうことをはっきりと語っていると同時に主の再臨が間近いこともはっきりと語っている。私たち自身と興味を覚えた人々とが共にその偉大な真理を覚え、無条件でそれを受け入れる信仰をもつような説明の仕方をどのようにして覚えることができるか。……問題点

「私は実際に光を見た。その光の唯中に二人の御方を見た。そしてその方々は真実私にお言葉をかけたもうた。私が示現を受けたと言うために憎まれたまた迫害せられても、なおそれは真実である。そして私がこのように言うために、人々が私を迫害し罵り偽ってあらゆる悪口をあびせている間に私は自分の胸の中で語るようになった。

「なぜ真実のことを話すから私を迫害するのか。私は本当に示現を受けたのだ。私がどうして神に抗えようか。何故世の中の人は、私が本当に見たものを見ないと言わせようと思うのか。私は示現を受けたのであるからそれが事実であるのを身を以て知っている。私は神がそれを知りたもうことを知っている。私はそれを打ち消すことはできなかった。また敢て打ち消そうとしなかった。私は少くとも、本当にあったことを打ち消すならば神の怒りを受けて罪の宣告を受けることを知っている」(「高価なる真珠」ジョセフ・スミスの著二〇二十五参照)。

末日聖徒イエス・キリスト教会に関する会話には次のような論評を含んでいるものがた

くさんあります。「あなたたちモルモンは善良な人たちであるが、物事を私たちのついて行けないところへ持って行ってしまう。あなたたちが、およそ物事を考える人たちにあなたたちの教会の開祖のジョセフ・スミスのお話を信じなさいと言うときには、その人たちに何でもかでも信じなさいと言っているのだ。

あなたたちは高い理想をもっている、あなたたちは勤勉だ、あなたたちはお互いの世話をよくする、あなたたちは善い生活をしている人たちだ、それで結構ではないか、あの示現と啓示の話はすっかり忘れてしまったらよいではないか」。

こういうのが、おそかれ早かれ末日聖徒が一人のこらずぶつかる批判の声であります。これは直ちに福音を吾げる言葉の要点を突く言葉でありますから、この点について適切な準備をしておくなら、この度々耳に入る挑戦に首尾よくこたえる役に立つことがわかるにちがいありません。

たぐさんの人々が予言者ジョセフ・スミスに天が開かれたことを聞いて、なぜあのように不愉快な念を起すのでしょうか。教会が立てられた話を述べるとき、これを聞く人の心

に激しい抵抗を起させるものは何でしょう。つまるところ、それは神聖なるもの、永遠なるもの、すなわち神それ自身がはばかることなく現われることなのです。すべてのキリスト教徒は神を非常に尊び敬まっています、それをそのままにしておきたいと思っています。ジョセフ・スミスの場合、世の中の人々は「神が近よりすぎた」と言います。世の中の人々は神を實在論と空想の中へ押しこもうとしています。世の中の人々は、不死不滅と死後の世界で霊の永続することに関してぼんやりした種々の哲学を固く守った方がよいと思っています。

筆者は、ある時、合衆国の本部から来た二人の訪問者にお供してソルトレーク市のまわり、とくに神殿のあるところを案内するよう頼まれた時に、この問題をはっきり提出されました。私たちが見学をしている間、その男の人、著名な放送会社の支配人は、夫人と一緒に末日聖徒のもっている信仰について主要な質問をたくさんしました。私は予言者ジョセフ・スミスが見た最初の示現の話を二人に充分説明をし、またイエス・キリストの福音が完全に回復されたことに關してしばしば

天が開かれたことなどを充分に説明しました。この二人の訪問者にとって、モルモン教の話の中にある「超自然的」(二人の言葉によれば)の面は非常に受入れにくいことは明らかでした。それにもかかわらず、この二人の訪問者は、開拓者たちの強い信仰と彼らの会見しているモルモン教徒たちの誠実とに強い感銘を受けました。とくに二人は、ウェルフェヤ・スクエヤで働いている人々が説明した主イエス・キリストを信ずる信仰の非常に実際の性格に感動しました。

このいろいろな出来事の多かった日が終るときに、二人はその日の案内者に、ホテルで晩餐を共にするよう非常に丁寧に招待しました。この人々が晩餐の卓でいろいろ真面目な質問をしたことは、この日二人がモルモン教会の首都を訪問して非常に感動を受けたことを物語っていました。二人は更にくわしく教義や信仰についてたずね、また一問毎にこのような信仰を証拠立てる聖書の中の言葉をたずねました。それからその夜私たちは中二階にある気持ちのよい席に移って私たちの話をうけました。

真夜中に近づいた時に、その支配人はしば

らく静かに考えてから言いました。

今日は一生の中で最も驚ろくべき経験をしました。実を申すと、私は忠実なクリスチャンとして育てられました。私の家では毎日聖書を読みました。私はこれまで教会で活潑な会員でありましたし、私たち夫妻はこれまで何よりも、私たちの結婚のもっている霊的の価値をいつも感謝しております。しかし私は今、私の心の底の方で二つものが争っているほどにかきまわされました。私はあなたがジョセフ・スミスの見た示現の話をしておられるのを聞いたとき、私は自分の心に、このようなことが起るはずがないと言ひ聞かせました。それにもかかわらず、私のもっている聖書の知識は、聖書の中にはちようどこのような現われ、すなわち神が現われたもうたという数々の例が一ぱいにのっているということに私に告げました。それからあなたは、神があなたがたの予言者にそのみこころと意志を啓示なさったことをお話しになりましたが、私は現代にこのようなことがあるものかと自分自身に言い聞かせました。しかし、また私の英知は、聖書の話にあるあらゆる時代に、はつきりこれと匹敵する出来事がいくら

も起っていると云って挑戦しました。あなたは私たちにモーセとアブラハムとエライジャが訪ずれたことを話されましたが、私はあなたの証言を受け入れませんでした。それにもかかわらず、私がこれまでずっと信仰していると言っている聖書には、ちようどこれと同じ訪れのあったことがのっています」と。

この時、その支配人の夫人は話の仲間入りをして言いました。

「ねえ、私たちが困っているもう一つは、聖霊の働らきがあるたくさんさんの証拠と、すばらしい恵みたまの賜についてあなたの言っていることをすることですわ。私たちはこれらのことがキリストとキリストと交わっていらした方々の経験なさったことの一部であることが解っています。しかし、私たちはこれらの事が今の世に起るはずがないと考えるように決められていますものね。」

次に支配人は言いました。

「これまでのことを総合するに、結局私たちは本当の信仰をもっているクリスチャンではないということになりますな。私にジョセフ・スミスの話を受け入れる能力があるかどうかはさておいて、私が今ここで受け入れる

ことのできない本当のクリスチャンの力になる根本原則を発見したとしても、それが聖書に記録してある遙かな昔の時代のことなら信ずると主張することを許されないことを自覚しています。あなたは私たちの霊性を目覚めさせて下さった、それで私たちは自分たちの信仰が弱いために心をみだされています。私たちはあなたがたのすばらしい主張を綿密にしらべて、あなたがたがモルモン独りがもっている信仰、すなわちイエス・キリストが本当に生きてましまし、神が近くにましますという信仰をもつことができるかどうか見てみましょう」と。

これが、クリスチャンであろがクリスチャンでなからうが、すべて世の中の人々に末日聖徒の告げる本当の意味の挑戦であります。これが、若い人々がいつも変らぬ証詞をもつ喜びと慰めとを経験するはずであるならば、各々の心に深く根ざさなくてはならない根本の考えであります。

ジョセフ・スミスの話と、ジョセフ・スミスが父なる神と御子の示現を受けたという事実とが、私たちの教会の根本であります。もしも予言者ジョセフ・スミスが実際に父なる

神と御子とに会って話を交じえなかつたら、モルモン信仰を守っている人々は歴史上最も欺むかれた人々であります。

それはモルモンほど、宗教上の行為を神が承認なさったという主張を大胆にまたいささかの逃げ口上もなくしているところほどにもほかにないからであります。

ジョセフ・スミスの偉大な世の常でない経験を再び教えながらジョセフ・スミスの歴史を読むならば、人はジョセフ・スミスが媒だちとなつて教会を立てた働らきを一層深くさぐる事ができるのであります。

私たちの教会の若人たちがジョセフ・スミスの告げる言葉が本当であると結論するとき、どの点に一番満足をすることができ得るでしょうか。確かに、彼が宣べ弘める責任をもっている考えのねうちのある点は、あらゆる真面目な求道者が彼にふさわしい決心をするところにあるのであります。

ジョセフ・スミスの力によって今日世の中に出ている聖典を注意深く研究することにより、私たちは予言者ジョセフ・スミスが人類の理解と行為に正しい指導を与えている立派な業績を一番よく測ることができます。ジョ

セフ・スミスが神の賜と能力とによって古代の記録から翻譯したモルモン経は、偉大な文明の歴史のために重要であるよりは、むしろ人類の永遠の救いに関する多くの大切な原則を解明する明るい光のために重要であります。若い人々が最初に、モルモン経から新しい考えと人間の為すべき行いに導きを得るためにモルモン経を読むなら、最も上手な読み方をしたのであります。人は後になって、モルモン経を読んで地理学上、人種学上の興味を抱くようになってよりよいが、これはあくまで第二義的なことであつて、まず大切なのはモルモン経を読んで生活を改善し、私たちの父なる神と御子イエス・キリストの神聖な使命とを信ずる信仰を強めることであります。

末日聖徒たちが用いるため、予言者ジョセフ・スミスによって授けられた数々の啓示を編集した「教義と聖約」には、此世に於ても次の世に於いても豊かな生活を得るために欠くことのできない、新しく生き生きしている考えが一ぱいのつています。その原則はわかり易く述べてあつて、「教義と聖約」がずっと世の人々に告げる堂々たる言葉になるほ

ど人間に必要な問題に広くあてはめてあります。更にまた、末日聖徒のもっているもう一つの聖典である「高価なま真珠」には、非常に貴い諸原則がほかに比べるものがないほど明瞭に述べてあります。あなたは末日聖徒としてこれらの教えをどのくらいよく知っていますか。あなたはジョセフ・スミスが人類の永遠なる幸福に貢献したことを正直に評価せずに、ジョセフ・スミスの偉らさをどうしてきめることができますか。

私たちは誰一人として、傍觀的態度で冷やかに「ジョセフ・スミスが本當の予言者だろうが詐欺師だろうが、僕には何の関係もない」と言うことはできません。非常に危いことです。世の人々に告げるジョセフ・スミスの言葉を注意して読んでごらん下さい、そうしたらその言葉が大切でないという迷いの夢がさめるにちがひありません。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として世の人々の前に立つ私たちの立場は、私たちの教会には神の権能がありすべての福音が回復されているというジョセフ・スミスの主張から一步も退くものではなくて、明らかにそれを再び肯定して証しをするものであります。

す。これを適切にまたなっとくするようにするには、誠実一方でなくて知識も加え、その上言葉と行いに正しさがなくてはなりません。

世の人々がいや応なしに信じさせられている迷信や、根拠のない哲学の疑惑や不確実に対して、私たちはモルモンの予言者ジョセフ・スミスによって、天が開かれたという一きわ確かな啓示の言葉と生ける証人とをもっています。私たちは神が生きてましまし、神の御子イエス・キリストが承認し施こしたもうた「救いの計画」は失敗でなくて真実「救いの計画」であり、私たちが聞いて信じ実行するすべてに対して此世に於ける善い生活と次の世に於ける救いと「昇栄」（日の栄の最高に昇ること）とが約束されていることをはっきりと知っています。

こういうわけで私たちは「感謝す末の世の予言者のみちびき」と喜びに充ちたげんな心で讃美の歌を唱うのであります。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

予言者ジョセフ・スミスの見た示現と天の使者の訪ずれとは、神と直接に交わることによって神の民を導くため神に召されたすべての人々の見た示現と天の使者の訪ずれと全く同様なものであることを、生徒たちに確認させること。

二、教授の方法（提案）

- (イ) レッソンの前に聖句を読むこと。
- (ロ) このレッスンの筆者が、神殿のあるところのまわりを案内した夫妻についての話をレッスンから読むこと。

- (ハ) 予言者ジョセフ・スミスが啓示によって召されたことと、その活動とを証しするオリヴァ・カウドリ、マーテン・ハリス、デビッド・ホイットマーなどの人々の証詞を読むこと。

三、生徒たちの参加に対する提案

- (イ) 私たちの教会の全体は、予言者ジョセフ・スミスの最初の示現およびその後につづった示現という事実の上に立っていると言われている。なぜそうであるか、考えられるだけ多くの理由を挙げよ。

- (ロ) なぜ世の中のクリスチャンたちは、聖書の中に非常に普通に出てくること、す

なわち示現、天の使者の訪ずれ、予言などを信じているのに、あのように困っているように見えるのか。

- (ハ) 近代の啓示がのっている書物のうち、あなたはどれが一番好きか。その理由は何か。

四、生徒たちの応用に対する提案

- (イ) 私たち一人一人は、予言者ジョセフ・スミスの働らきが神聖なものであるという証詞をどうしたら得られるか。

- (ロ) ジョセフ・スミスの見神録を読んだことのある生徒たちに、その中のどの部分が、ジョセフ・スミスの見神が真実起つたことを実際に記した記事であるという感じを植えたかを言わせる。

- (ハ) 「聖霊の助けなしには健全にして確乎たる証詞を得ることはできない」という言葉について論ぜよ。

以上テキスト

MIA エンサイクロレル教科課程

一九六二年二月十五日用

神がそばにいる

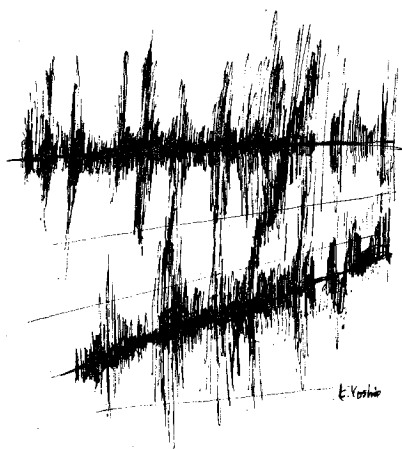
「われわれが生活の中で、釣り合いを保っている感じをなくしたり、まわりのものと関係を保っている感じを失ったりすると、教会から離れる傾向があり、むしろ往々墮落する傾向がある。われわれはどこから来たか、今どこに在るか、これからどこへ行くかとして、いるかを知ることによって生ずる安心は、どうしたら最も良く得ることができるか」……………問題点

「またわれ汝らに一つの誠命を与う。すなわち汝ら互いにこの王国の教義を教うべし。汝ら熱心に教えよ。さらばわが恩恵は汝らに伴い、かくして汝らの理解する必要がある理論と原理と、教義と福音の律法と、神の王国に就けるすべての事は更に完全に教えらる。また天にも地にも地の下にも関わりあること、またすでに起りたること、今有ること、近く必ず起らんとすること、また国内にあること、国外にあること、また戦争、諸国民の葛藤、地上に下る審判、而して国々と王国とに就ける知識などもまた然り」(「教義と聖約」八十八〇七十七—七十九参照)。

あなたが今永遠の中どこにあるかということを知る能力は、イエス・キリストの諸原則に従順である答えとして授けられる本当にすばらしい賜物であります。主なる神が、その選びたもうた予言者

たちに、彼らが神の子らの間で導きと教えを施すための準備としてこの体勢を与えることをお引き受けになったのは、まことに意味があると思われます。原因と結果の間に関係があるという感覚は、すなわち神の永遠なる目的を認識することから生ずるものであって、一人一人がもつことのできる最も有用な財産の一つであります。

人生をずっと遠くまで見渡すことは必ずしも容易なことではありません。人は現在に執着し、過去を忘れ易く、実際に於いて見通しのつかない未来を侮る傾向があるものです。末日聖徒は、主なる神が、このレッスンの始めにある聖句の引用で証明されているように、私たちを多種多様な主題について知ることができるようにしようと思っておいでになったと信じています。私たちは、一人一人の



進取の気持ちと努力とによって得られるこの知識を、賢く生活に應用するときには、完成という目標に向って一層大きな祝福と一層速やかな進歩とが得られるにちがいないことを教わっています。毎日毎日をくらしに行く生活の中で、私たちが一番欲しいと思っているのは信頼のできる観点、すなわち本当の客観性をもって、私たちの投資する時間と才能とを算定し、父なる神によってつくられた真の標準に照らして自分の進歩あるいは退歩を測り得る有利な位置であります。

イエス・キリストの福音は、先在の生活で成長と進歩とを生じた一人一人の活動について、見解を与えようとする唯一の計画であります。イエス・キリストの福音によってだけ、その先在の世からの死ぬべき体をもって世に生れてきた移り変りを論理的に説明ができます。時が過ぎ行き、いたるところに「人間の知恵」が崩れ去ると共に、イエス・キリストの福音だけがこの地上に於て唯一一つの信頼すべき計画であるという証拠がますます多くなつて行きます。それが神の福音であるということは、福音の真理を自分の生活で実践する者に常に伴う平和と美しさと成長とによって証明されると同じだけ、福音の教えを無視するか服従しない者たちに伴うみじめな結果によって証明されることから解ります。私たちはこの二つの例を身近かに見るができます。イエス・キリストの福音は、死を越えたかなたの道をも照らします。では、どうしたら私たちは福音の計画の全体を見わたす有利な位置を発見し、また福音のもっている多くの面を理解する精神を得ることができるようか。その方法は私たちがすべてに共通している経験の中に見られます。

東部ユタ州にあるウインタ山脈の高いところに、一群の山小屋が天をつく峰のふもとに固まって建っています。このホリディ・パークと呼ばれる地点は、冬の季節にいつもみりよくのあるところでした。また永年の間、そこは夏の間浮世の苦勞から避難する格好の地になっていました。人々はそこで一度受けた印象は永くつづいて消えないと言います。私自身についても、私が少年のときホリディ・パークを訪ねた回想がそうなのです。うねった山道は峡谷の床の上に最後の一すじを押しづけていますが、度々の暴風雨や自動車と木材切出し用の車によって、わだちの跡が深くついています。私たちがこのホリディ・パークに車り乗り入れたとき、ウェーバー川の水晶のような水の流れは岸辺の高い柳の木によって注意深く守られていてちらりと見えただけでした。私がこのように保護されている狭い高原を見まわしたとき、私はこんなに圧倒的な山々をこれまで見たこともないと思いました。その山々はほとんど体感することのできるくらいのもので、その場所を閉ぢこめているように見えました。私はそこに着いた第一日に、私たちをもてなしてくれた友人の山小屋のごく近くを歩きまわることができただけでした。私は広大な天地の中にある私の探險した「小島」をとりまいてる珍らしさと巨大さに、決定的な敵意と近づきにくさを感じました。ホリディ・パークで受けた私の第一印象はこのようなものでした。

毎年毎年私たちがその場所で長い間すばらしい夏を過して行くうちに、私の足跡はそれまで人が知っていたあらゆる踏みつけ道や、人の知らない多くの踏みつけ道に延びてゆきました。私たちがすべてが毎年待ち望んでいた大冒険は、これまで試みたことのない、いく

つかの峰に昇ることでした。この冒険はいつも前進的の段階を経て行われました。コールド・スプリングの後側にそびえている小さな山に昇って見たときには、山小屋や谷川の上流下流を僅かに望み見ることができただけでした。もっと高い見晴しのよい地点へ昇りたいという私たちの望みはいつも満されて、私たちはもっと離れたところにある峰へ向って出発しました。登ってみると一つ一つの山はみなちがっていました。或る山はいばらと野ばらが一ぱいに茂っていました。別の山は山頂へ着くまでに、交叉した道なき道をはてしもないほど登らなくてはなりませんでした。もう一つの山には巨大な漂石が散在していて、一步一步登る私たちにこれでもうだと言っていました。しかし、一つ一つの峰の頂きを征服したときの喜びは何ともこたえようのないものでした。いつもその時、困難を克服して障害にうち勝ったというすばらしい感じがありました。いつもそこには、全部の地形がわかる前よりもすぐれた観点がありました。いつもそこには、今新しく立っているところから見ると、前からよく見えているものが非常にちがって見える驚ろきがありました。その通りです、またいつもそこには新しい美しさ、すなわちそれで見えなかった水の池、みずみずしい緑でおおわれた平原、人目につかなかった瀑布、さらに必然的に将来の探険を計画させるもっと数多くのまたもっと高い峰々がありました。

また、山小屋へ帰ってきて盛んに燃える暖炉の火に当たっていると、それまで未知であったまた試みたことのなかった障壁をまた少し向うへ押しやったという快い感じが湧いてきました。そして、これまでよく知れていなかった事をもっとよく知りもっとよく理解

したという誇りがありました。私のホリデイ・パークに寄せる愛情はそこを訪ずれる度に強くなります。それは私がいよいよホリデイ・パークをよく知るようになり、私の個人的経験によって知り且つ理解している美しい事物に愛着しているというはつきりした感じが心の中にあるのを知っているからです。

イエス・キリストの福音を発見することは、私のホリデイ・パーク発見と少しもちがっております。もしも私とその峰を始めて見つけてそれに登りたいと思ひ、とうとうその高さをきわめるために大へんな個人的努力を出さなかったなら、ウインタの峰の上からそのすばらしい景色を眺めたときの筆にも口にも表わせない感情に口も利けない思いをしなかったでしょう。

もしも私たちが福音の啓示を「訪ずれ」てその深い意味をつくづく考えなかったら、私たちの一人も福音の啓示に接して胸のおどる思いをしないにちがいません。これが誠実勤勉な研究をしなくてはならないわけです。私たちの視界が制限されないように、主なる神は「すべてのことを探れ」と仰せになりました。信仰の力によって、私たちは最初に比較的低い原理の理解の頂きに達する努力をあらわし、後からもっと偉大なもっと広大な真理の理解の頂きに達する努力をあらわさなくてはなりません。私たちの理解力と経験とが増すにつれて、私たちが主なる神の計画のすべてをもっと深く見抜きたいという望みが満足されることが解ります。そのとき、私たちは「飢え渇く如く義を求める」という言葉の意味がわかるにちがありません。

私たちが福音の広さを知る程度が増すにつれて、その美しさを愛

する私たちの愛も増すにちがいありません。私たちは福音の環境の中にあっていよいよ楽な気持ちを感じ、ますます多くの光が私たちの生活にさしこむように、未知の障壁を押し返すあらゆる機会を求めるにちがいありません。

私たちの非常に多くは、愚かな習慣と慣例とによって発達の天井を制限しています。私たちは高い所にある一層よい理想の世界を理解していないか、または自縛自縛を破る勇氣と先取の氣象が欠けているか、どちらかのためにせまい経験の谷にいつまでも留まっています。

福音がどこまでも広がる視界の中にあつて正しく福音をながめるとき、福音を研究し実践すると人々を「狭くする」という非難を容易に反ばくすることができず。多くの若い人々は、教会が与える何らの保証のない制限が、その大切な一生を形づくる時代のうちに自由に動きまわることを妨たげるのをおそれるから、教会へ来ることを意識してためらいます。このようなおそれは何の根拠もないものです。私たちの自由な動きを制限するのは暗黒と偽りの教えだけであり。英知は光と真理とから成り、光と真理は生き生きとした活動によつて私たちが「悪魔を捨てる」助けをします。人々をつまづかせて束縛するのは盲目と無知であつて光と真理ではありません。

福音の絶頂に首尾よく登り、福音の並木道を通つた人々は異口同音に言います。「眺めがすばらしい」と。

永遠を本当に見通すことから生ずる祝福の一つは、ほかの人々の心に静穏と安心と信仰とを注ぎこむ力であります。相戦っているイ

デオロギーが混雑と混乱をしている中に於いて、真理を知っていることは、全く確かに私たちがつかまつてまっすぐに進むことのできる「鉄の棒」になるのであります。もしも私たちが主の命じたまうたことをしてしまつてゐるならば、私たちは「人間の狡猾さ」でだまされることはあり得ません。それは、私たちの目が独りで見てしまつており、また私たちの理解が「主のみたま」によつて活き活きとなつてしまつてゐるからであります。

私たちが主の計画をのこりなく理解したときに、これこそまことに主のみ業であるという、神が親しく直接にたもう啓示が得られるにちがいありません。その最後の確認を得て私たちは、主がその使徒ペテロに仰せになつたように「汝は幸いなるかな……汝にこれを明かせしは血肉にあらざして、天にましますわが父なればなり」と言われることができるのであります。

「教授の手助け」

一、レッスンの目的

生徒たちの仕事と信仰の量質ともに「生命の計画」と救いとを一層よく理解する導きとなるために、福音の理解を拡大するよう絶えず生徒に強く感じさせる。

二、教授の方法（提案）

(i) レッソンの始めに聖句を読んで考察する。

(ii) 人生の先きの先きまで眺めること、すなわち永遠にわたつて眺めることはなぜむづかしいか。

(iii) 人生の小さな丘に登ることに時間を使う人は、人生の最高峰に登ることに勢力と時間を使う人の見るような眺望を得られない

と言われている。人生で登る小さな丘とは何のことを言うか。
三、生徒たちの参加に対する提案。

(イ) 忠実に守るなら、人生の先きの先きまでの眺望を得させるいろいろな活動を表にして提案せよ。

(ロ) 次の事項について生徒たちの考え始めたことについて考察させよ
(1) 品行 (2) 正直 (3) 教会で望ましい奉仕 (4) 結婚の目標
(ほかに追加することができる)。

(ハ) わが教会の「予言者、聖見者、啓示を受ける者となった人々は、彼らの働らきに対してどんな準備をしていたか。

四、生徒たちの応用に対する提案。

(イ) 生徒たちが次の事項を考察するように提案せよ。(1) 日の栄の最高の栄えに昇るという事から言って、今日われわれはどこに立っているか。(2) 何がわれわれの正しい方向へ行くのを妨げるか。(3) 日の栄えの最高に昇るためにわれわれは日常の生活でもつと何ができるか。

(ロ) 人生の先きの先きまで見通している人々の生活と、目先きのこととしか見えぬ人々の生活とどこが違うか。

(ハ) われわれを日の栄の最高に昇らせ、試練に逢っても消え失せない、人生の眺望をどうしたら確実に得ることができるか。

……以上テキスト

MIA エンサインローレル教科課程

一九六二年二月二十二日用

(エンサインとローレルは来週別々に集ります)

二月日曜学校練習の讃美歌

一三一番 天にまします永遠なる父

メンデルスゾーンの作曲した有名な旋律ですので知っている方も多いと思います。聖餐の歌ですので聖餐式に使ってください。

四分の四拍子の歌で非常に歌いよく、美しくできています。ただ始めの出だしの音が割合高い音ですので注意して下さい。始めから全員が声を揃えて歌えなければなりません。

毎度注意しますが符点音符がとても重要な役割をしていますのでくれぐれも注意して粗末にしないようにして下さい。

来月の歌は「四三番」です。

二月子等日曜学校練習の歌

子等は歌う 一三一番 正しくあれ

旋律も単純で短いのので練習しやすいと思います。ただここでも注意しなければいけないのは符点音符です。三拍子ですから子供達に数えさせながら(自分達で膝をたたく等……)旋律えさせると効果的だと思います。

来月の歌は「五十番」です。

ENGLISH CONVERSATION TEXT

LESSON 1

Chōrō : Konbanwa Tanakasan, senjitsu oukagaishimashita Moru-
mon Kyokai no senkyōshi desu. Okusanga konban nara
ukagattemo yoi to osshaimashita. Ikagadeshoka. Wata-
kushi no dōryō wa B Chōrō desu. Watakushi wa A
chōrō to mōshimasu.

Chōrō B : Tanakasan, dōzo yoroshiku onegai itashimasu.

Tanaka : Hai, kanai kara kiite orimashita Oagarini narimasenka?

Chōrō : Arigatō gozaimasu. Oukagai dekimashita node hontōni
yorokonde orimasu. Senjitsu oitemairimashita panfuleto
wa oyomininarimashitaka?

Tanaka : Hai, sukoshi yonde mimashita.

(Ie ni haittekara)

Tanaka Fujin : Konbanwa, yoku irashaimashita.

Chōrō : Konbanwa, konya wa tanoshimi ni shiteorimashita. Ta-
nakasan, minna gokazoku no katadesuka?

Tanaka : Ee, demo konya chōnan no Hiroshi wa gakkō no koto
de dekakete orimasu. Kore wa musume no Kiyokodesu.
Sorekara wanpaku daishō no katsuhiko desu. Dōzō osu-
warikudasai.

Chōrō : Subarashii Kazoku no minasan ni oaishite konban oha-
nashi dekiru node taihen kansha shite imasu.

Tanaka : Kanai wa anatagata no neshinsa ni kanshinshite ima-
shita. Kanai ga anatagata wo omanekishita node taihen
yokatta to omoimasu.

ENGLISH CONVERSATION TEXT

LESSON 1

Elder : Good evening, Mr. Tanaka, we are the Elders that called at your home several days ago, and Mrs. Tanaka invited us to return tonight. My companion is Elder B and I am Elder A.

Elder B : I am pleased to meet you, Mr. Tanaka.

Mr. Tanaka : Yes, I know about you, my wife has been telling me of your message ; she enjoyed your call. won't you come in ?

Elder : Thank you, Mr. Tanaka, it is truly a pleasure to come to your home. We hope you had a chance to read from the pamphlet which we left for you.

Mr. Tanaka : Well, I have read some of it.
(Inside the Home)

Mrs Tanaka : Good evening. I am pleased to see you young men again.

Elder : It's wonderful to be here; we have looked forward to this night. Does this constitute your family, Mrs. Tanaka ?

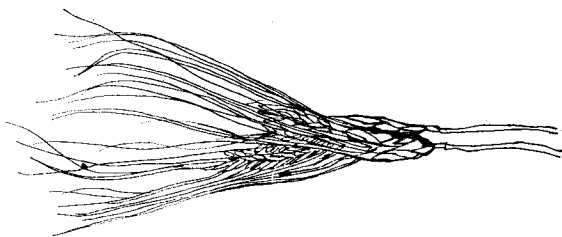
Mrs. Tanaka : Our older son, Hiroshi, could not make it tonight some activity at school but this is Kiyoko, our daughter, and our other son, Katsuhiro the rough neck of the family. please sit down.

Elder : We are so pleased to meet your fine looking children, Mr. and Mrs. Tanaka, and are deeply appreciative of the privilege of meeting with you tonight.

Mr. Tanaka : My wife was impressed with your sincerity. and now that I have met you, I am happy she invited you to come.

ルツとボアズの物語

(旧約聖書ルツ記より)



鈴木百合子 (子供日曜学校指導者)

昔々、ベツレヘムの町に、エリメレクという人が住んでいました。妻の名をナオミといい、二人の間にマロンとキリオンという二人の息子がいました。

ベツレヘム一帯に飢饉があり、彼らはモアブの地に移って楽しい生活をしようとモアブにやってきました。

エリメレクは、一生懸命、ゆきましたが急に亡くなり、ナオミは一人で二人の息子を育ててゆかなければなりませんでした。

息子たちは、とても母親想いの子供で母を中心に精を出して農場で働き、やがて、それぞれ妻を娶りました。お嫁さんの名前は、ルツとオルパといいます。ところがマロンとキリオンは彼らの父親と同様、二人とも僅かのうちに相ついで死んでしまいました。母親は深く悲しみ、すっかり気を落してしまいました。ルツもまた淋しかったのですが、何んとかして義母(ナオミ)を元気づけてあげようと試みました。ナオミにとっては、それがいっそう悲しみを増してしまうのでした。

ナオミは、お嫁さんたちを大変愛していましたし、また、ルツ、オルパもナオミを親っておりました。ある日、ナオミは、先の短い余生を自分の知人や親戚、また耳に慣れた言葉を話す人々の間で送ることにしようと決心し、嫁たちにそう語りました。

ルツは二度と再びナオミに逢えなくなるのではないかと考え、どうしてもナオミがベツレヘムに戻りたいならば自分も一緒に行くことと決心しました。

これらのことは、自動車も汽車もなんにも乗物のない昔々のことです。

彼女たちは全て歩かなければならなかったのです。ナオミとルツ

が出発する時にオルバも同行しました。しばらく歩きだしてから、ナオミはこの若い二人が見知らぬ所で過すということは、どんなにつらいことであるか考えますと、どうしても自分と一緒に来るようにと云えなくなりました。

そして次のように云いました。

「あなたがたは、それぞれ自分の母の家に帰って行きなさい。あなたがたが、死んだ二人の子と私に親切をつくしたように、どうぞ主があなたがたに、いつくしみを賜わりますよう。どうぞ主があなたがたに夫を与え、夫の家で、それぞれ身の落ち着き所を得させられるように」と。(ルツ記一章八節)二人の嫁に口づけしたので彼女たちは声をあげて泣きました。

キリオンの寡婦オルバはナオミと別れをつげましたが、ルツは、この世に全くの独りになった職女ナオミと、どうしても別れられませんでした。ナオミは「ごらんなさい。あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。あなたも相嫁のあとについて帰るなさい」(ルツ記一章一五節)しかしルツは云いました。

「あなたを捨て、あなたを離れて帰ることを、わたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です」(ルツ記一章十六節)ルツの言葉をきいてナオミはどんなにうれしかったことでしょう。それから二人は丘や平原を越えて、幾マイルもの道をベツレヘムへと歩きつづけました。そしてとうとう、大麦刈の初めにベツレヘムに到着しました。

彼女たちはよく実った穀物の畑をみました。早くも刈りいれの仕事を始めた畑もあります。麦を束にしてしまった後に落穂を拾って

いる貧しい人々も見受けられました。

ナオミもルツも農場を持っていまないので二人の生活を支えるために、ルツもこの落穂拾いに加わり、その日の糧にしました。

その仕事は、とても骨が折れましたが、ルツは喜んでそれを行いました。

さてナオミには夫、エリメレクの親戚で非常に裕福なボアズという人がいました。

ある日、ルツが穂を拾って歩いているとボアズの畑の部分に來ました。

ちようど、その時ボアズは刈りいれの具合をみにまいました。

彼は若い婦人が落穂を拾っているのを見て、仕事をしている人に彼女は唯なのか? たづねました。

「あれはモアブの女で、モアブの地からナオミと一緒に帰ってきただのです」彼女は「どうぞ、私に、刈る人たちのあとについて、東のあいだで、落穂を拾い集めさせてください」(ルツ記二章六節、七節)

ルツは終日よく働きました。ボアズはルツを食事に招んで、とうもろこし、パンを与えました。そして貴女が望むなら、毎日でもこの畑に來て落穂を拾うようにと云いました。ルツはボアズの前に低く頭をさげてこう質問しました。「どうしてあなたは、わたしのような外国人を顧みて、親切にしてくださるのですか」。ボアズは答えて彼女に云いました。

「あなたの夫が死んでこのかた、あなたがしゅうとめにつくしたこと、また自分の父母と生れた国をはなれて、かつ知らなかった民のところにきたことは皆わたしに聞こえました」(ルツ記二章十節・

十一節

ボアズは畑を横切る時にたちどまり刈りいれをしている人たちに「彼女には束の間でも穂を拾わせなさい。とがめてはならない。また彼女のために束からわざと抜き落しておいて拾わせなさい。しかつてはならない」。(ルツ記二章、十五節・十六節)と命じました。

そのために、彼女は毎晩たくさん落穂を家に持って帰りナオミにパンをやいてあげました。ルツは今日起つたできごとをナオミに話しました。ボアズに逢つたことや、わずか一日に前の一週間より余計に拾えたことなどを、ナオミは非常に喜びました。

彼女は自分が長く生きられないことを感じボアズがルツを妻にしてくれればよいと思いました。

ボアズは度々、畑に来てルツの仕事ぶりを眺め、何と美しい人であらうと思いました。そして、昔、従兄弟(エリメレク)の物であつた土地を買い戻してやりました。

ある日、ボアズはルツに求婚し、彼の家にきて住んでくれるようにたのみました。

ルツがその申込を受け入れ、ナオミも一緒に彼らと住みました。やがて二人は男の子に恵まれオベデと名付けました。ナオミはオベデを腕にだき、この幸せを、心から天なる神に感謝を捧げました。オベデは大人になってエサイ、ダビデという孫をもち、タビデはナザレの大王の妻、マリヤの直系の先祖であります。

——子供日曜学校教材用——

★ ☆ ★ ☆ ☆

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

★ ☆ ★ ☆ ☆

新年おめでとう存じます。

皆々様、今年こそノと輝く希望に胸をふくらませていることと想像しております。どうぞ本年も子供たちの良き協力者として活躍してください。

そろそろ、この子供の日曜学校でも、今使っている教科書とお別れせねばなりません。いかがでしょうか？ 進行状態は？

新年度(この学校だけ、特別に四月からを指す)の教科書は次の通りです。

上級 聖書物語 百五十内

中級 宗教と生活Ⅱ

下級 霊的成長Ⅱ

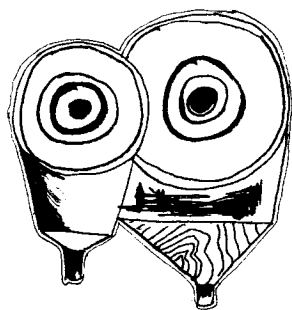
先生方は、何冊教科書が必要とするか、調べて伝道本部内、子供の日曜学校責任者鈴木百合子まで一月中にお知らせください。(各支部、図書として数冊余分に注文するのも良い)。

——子供日曜学校ガイド——

年 頭 所 感

愛する兄弟姉妹

上 野 道 男 (日曜学校指導者)



明けましておめでとうございます。過去一年間日曜学校を通して、神の王国発展のため努力して下さいましたことを心から感謝致しております。ふりかえってみますと物質的な面では、去年一年間の進歩は実に驚くべきものがありました。宇宙開発、機械、エレクトロニクスの発達は全く目をおおうばかりです。しかし精神的な面のそれはどうでしょう。その歩みは遅々として百年一年の如しです。そのアンバランスがともすると我々人類の平和を乱そうとしております。今ほど人間の霊的成長の必要性が痛切に感じられるときはありません。人間の霊的成長に必要な糧―神の口より出する言葉―をより多くの人々に分ち与えるため今年も又希望をもってより一層努力をなさいますよう期待致しております。年の

始めにあたり新らしい気持でこの責任を果し合おうではありませんか。

教師に対して

新しいテキストを手にして皆様方先生はどのようにしてレッスンを組立てるかいろいろと考えられておると思います。

この末の日に回復されたこのすばらしい神の福音を伝える教師は実に大きな責任があります。そのためいろいろなレッスン資料獲得のため相当時間を費しておると思います。

そこで皆様のお参考までに一九五九年以来「聖徒の道」に載ったものでレッスンに役に立つものを拾いあげました。

十二月号・日曜学校ガイドの訂正

七二一頁

二つあるうち上の方

誤 七十人第一定会 七十人の会長

教師定員会 二四人の会長

正 七十人最高評議員会 七十人の会長

祭司定員会 四八人の会長

伝道部長会 部長

副支部長

テ　　マ	年	月号	ページ			
証詞とは何か	61	4	118	3人の見証者		6
科学と宗教は争うか		2	73	モルモン開拓者		7
一夫多妻制度について		4	198	かもめの奇跡		8
律法なくして死にたる者の救い		5	270	金版を受ける		9
安息日をいかにして過すか		6	326	アロン神権の回復	61	5
サタンは祈りにこたえる力があるか		7	370	ソートレークの谷		7
祈りと断食		8	435	○ イエス・キリストに関して		
擬似聖文と旧約聖書		8	443	誕生	年	月号
主の復活以後の復活について		9	511	山上の変貌	59	12
完全なる福音について		10	568	復活	60	2
モルモン経の見証者		11	616	誕生		4
金持ちとラザロの物語り		11	632	カナの奇跡 (水をぶどう酒に)	61	12
欽定訳聖書 (上)		11	627	ラザロのよみがえり		2
〃 (下)		12	688	昇天		3
表　　紙				めしいをいやす		4
○ 幹 部 の 写 真				幼児の祝福		6
				ペテロの否み		8
				受難		9
				埋葬		10
デビッド・O・マッケイ大管長	59	1				11
ステフン・L・リチャード		2				12
J・ルーベン・クラーク・Jr		3				
ジョセフ・フィーリデング・スミス		5				
マーク・E・ピーターソン		6				
ヘンリー・D・モイル		10				
ハロルド・B・リー	60	1				
ハーウアード・W・ハンター		3				
ジョセフ・スミス	61	1				
○ 神　　殿						
ソルトレーク	59	4				
〃		8				
ローガン		11				
○ 重要な事柄に関して						
ソート・レークの谷	59	7				
神権回復	60	5				

モルモンの教義

日曜学校ガイド

テ	ー	マ	年	月号	ページ
復活の法則			59	6	6
〃	〃			7	10
再降臨				8	8
福千年				9	8
新エルサレム				10	10
イスラエルの散乱と集合				11	8
バプテスマ				12	8
死者の代りのバプテスマ			60	1	8
パラダイス				2	40
始祖の墮落				3	70
贖いと救い				4	104
日の光栄、月の光栄、 星の光栄				5	136
神 権				6	167
智慧の言葉				7	200
地球の創造とその将来				8	232
聖霊、みたまの賜、キリス トのみたま				9	264
始祖アダム				10	295
神の子イエス・キリスト				11	335
神 殿				12	374
結婚—永遠の誓約			61	1	8
聖餐の律法				2	49
昇栄(エキザルテーション) 日の栄の最高に昇ること				3	111
先在の教義				4	177
回復の教義				5	249
エライヤス・エライジャ・ エリヤ				6	309
祝 福 師				7	373
証人の法則				8	431
啓示はつづく				9	496
天の王国—神の王国				10	559
契約—永遠の契約				11	623

テ	ー	マ	年	月号	ページ
モルモン経典年表			61	2	90
復活後の主の足どり				3	151
出エジプトとモルモンの 西部への移動の比較				4	220
旧約時代重要年表				4	219
神殿について				5	280
各代大管長と教会略史				6	343
教会の儀式				7	414
キリスト時代の啓示				8	476
モルモン経典中の偉大なる 教師たち				9	532
神会(神とイエスと聖霊)				10	600
ニーファイ人の指導者				11	662
教会の組織				12	722

そ の 他

テ	ー	マ	年	月号	ページ
ロンドン神殿献堂式(Ⅰ)			59	1	30
〃 (Ⅱ)				2	34
放蕩丈すこの話				2	1
子供は罪をもつて生れるか				3	12
ソルトレーク神殿				4	16
回復された福音				6	28
貞 潔				6	30
モルモン経(金版)の3人 の見証者				8	24
科学と宗教				9	5
モルモン経8人の見証者				9	24
産児制限に関する警告				10	10
祈りの力				11	2
永遠の結婚			60	1	13
タバナクルの合唱団				1	16
十二使徒				2	51
悔改めの必要				3	66
聖句集「キリストの復活」				4	110



MIA

リーダー

良く教え、指導するための 六つの基本的標準

第二課（先月号からの続き）

e、真の友情のために、企てられた時偶^{たま}の社交的な計画や、野外旅行を、教師は助けてやる事ができる。学生たちの中には、クラスではそれ程拔きん出て優秀でなくとも、クリスマス^{クリスマス}の捧仕計画として、玩具類の修繕に堪能な人がいるかも知れない。また、他に食べる事に秀でている人もいる。受け入れられたいと云う感情は、このような集団的な経験を通して得られるのである。

f、既述の方法や、教師の考えつく他の方法も、若し、人たちに心から興味がある事を示し、彼らに好意を持たなければ、何ら役立たないものになるだろう。パウロの言葉は事実である。私は貧しき人を養うため、全ての食物を捧げ、焼かれるべく、私の肉体を差し出したけれども、慈悲（キリストの純粋な愛）が無かったので、何物をも益しなかった。どの教師でも、クラスの会員の一人一人に対して、いかなる感情を懷いているかを知るように、自分の本心を試すべきである。若し、受け入れられない人たちであるなら、彼らは

むしろ、愛することを学ぶために、もっと捧仕してあげなければならない人たちである。

2. 新しい経験、冒険、独創的な自己表現

教師、特に、若い人たちを扱っている者はいかに、自己表現に対する大きな衝動を満足させようとする彼らを助け、それを、教会の理想と一致した方法で、ためすことができるだろうか。

a、教師はレッスンや、活動にも熱心で、真面目に興味を持つはずである。此の態度は直ちに、物事への教師の愛情を肌に触れようと学生たちの気を惹き起こし、伝染的に広がっていく。この事さえしっかり覚えていれば、熱意をもって、気易く、クラスに出席するのが容易である。

b、教師は計画の中で、学生たちが学習していることをはっきりさせておくべきである。教師は唯一の目標を持つばかりでなく、学生たちにとって全く耳新しいものであるか、既にある知識を更に、本質的に豊富にするものでなくてはならない。学生たちにも意志がある。彼らは頭の中でやたらと冒険しがっている。これは酔いながら、違反であることを知りつつ、ハイウエイ上で、スリルを求める若者より危険が少ないばかりか、報いのある

ものである。教師の皆さん、あなたが次の機会に、彼らを教える時に、学ぼうとするクラスに、どんな有意義な新しいアイデアがありますか。

c、友情は冒険の源泉である。上記で指摘された受け入れ（認容）を達成する多くの方法はまた、極めて冒険的である。祈禱、崇拜、奏仕、親切—これらは特に、グループに分けられる時に、精神的な冒険に富んでいる。しばしば、我々は娯楽的な規準でのみ、冒険を考え過ぎている。

d、自己表現は参加を意味する。Mメン・グリーンナ、エンサイン・ローレルはお互いの活動の計画に参加せねばならない。教師や指導者は若い人たちが自分自身のために、教会のために、もっと、役立つように智恵を使いなさい。人を満足させる経験は、その人がためし、達成し、それが基本的な欲求を充たし、人格を築くのである。

3. 自己承認、或いは自尊

これはなかなか実現し難い欲求である。特に、自分自身でも解らない理由で、その裏付けに欠けている人たちにはなおさらである。教師はどうしたら良いか。

a、業績が自尊の真の根元である。老いても若

きも成功したい気持ちを持っている。我々は何々を幸福にし、彼らに特別の目をかけ、報償を与え、賄賂を使つてさえ、教会に近付けようかと試みる。これらの物は内面的な人間を満足させない。駄々子でも、正当な遂行によって、自分の価値を認めさせようとしないうで、何でもやってあげてしまう両親に、憎らしさと、軽蔑の気持ちを持つて反抗するのである。もっと多くのアイデアが若い人たちをして、責任を遂行し、教会に奏仕させるように、両親、教師、指導者によって使われるべきである。女親は子供のために全てを与え、多くの犠牲をためすがゆえに、子供を深く愛する。同じ心理状態が若い人たちにも適用する。彼らはその行動の理由に、立派であり、有意義なことを指摘してやると、それを愛するようになる。

業績は全く明確なものである。指導者は彼の責任にある青年たちが、討論、朗読、指導、ダンス、スピーチ、クラスの主任との説教、音楽や演劇への参加等の機会を通して、それ等の技術を学ばせるように、注意深く計画し耐えなければならぬ。我々はその苦勞を、活動やグループの統計を使つてではなく。自分のクラスの一人一人に何が起つているか

判定することが大切である。彼らは何を学び何を達成しようとしているのか。その中から自分の力量を知るだろうか。（第二課終り）

二月八日「ヴァレンタイン」

ダンス」

此の日は聖ヴァレンタインの日で愛の深かった彼にちなんで、愛の日、と言われて来ました。日本でも二・三年前あたりから若い人々の間に此の日に愛の贈物をする習慣が現れて来ました。日頃好意を持っている異性に「ヴァレンタイン・カード」を送ったり、恋人や許婚者に美しい箱に入ったチョコレートを贈ったり、果ては、此の日は女性が愛の告白をしても良い日だとばかり、日頃の想いを男性の前で勇敢に述べるドライな二十世紀の乙女が現れたり、だんだん楽しいヴァレンタインが私たちの生活の中に入つて来ました。行き過ぎた商店の売り出しの宣伝に使われている大きなハートを見ると私たちのロマンティックな夢もこわされてしましますが、でも私達のMIAでは清潔な美しさと愉しさを持ったヴァレンタイン・ダンスを催したいものです。

先ずこの日のためにMIAのダンス・グル

ープが主体となってダンスを練習しておきましよう。支部の中にはエンサイン・ローレルがいることです。社交ダンスばかりでも困るでしょう。フォーク・ダンスや、スクエア・ダンスも適当に入れましょう。地方にあって、MIAの会員の年齢層が非常に若く、ボールルーム・ダンスをやっていない支部にあっては、勿論、フォーク・ダンスやスクエアダンスだけでもかまいません。それにしても十年一日のごときダンスばかりやっていないでダンスの先生は新しいダンスをどしどし教えましょう。ダンスの先生は講習会に行ってもいいし、また伝道部より紹介された本を使って練習してもいいし、またレコード屋さんに行って新しい曲を買うと中に踊り方の説明書が入っておりますから、それを良く読み図解を見ながら練習もじゅうぶんできます。小さい支部にあってエンサイン・ローレルだけのMIAでしたら、フォーク・ダンスだけでもかまいませんがMメン・グリーナーがいるようにしたらワルツ位は入れたいものですね。ワルツでも。ボックスと言われているものや、ナチュラル・ターン、リヴァース・ターンやシャッセ位で会堂を一周りできますから先生も簡単に教えられると思います。

扱て、当日の責任者はMIA役員全体にあります。しかしプログラム担当はダンスの指導者が持ちます。企画ができましたら、責任者全員でプログラムを検討し、良いと定ったら、各々分担をきめて宣伝・装飾・企画・接待・会場整備等の係に別れましょう。

この夜はできるだけ楽しいものにするために支部の皆様に招待状を送りましょう。この招待状も、皆の手製のヴァレンタイン・カードが良いでしょう。すでに家庭の人となられてMIAに願を見せることが少くなった姉妹たちも、このカードを受け取って、美しい想い出にふけり、MIAで知り合った御主人を誘ってダンスに行らっしゃるかもしれません。また若い頃をなつかしみながら愉しそうに踊る老夫妻を美しく眺めるのもこんな夜でしかないでしょう。また教会外に自分の恋人を持っている人は今夜こそ教会を教える良い機会だと思います。清らかで美しくそして愉しい雰囲気を出すことがこの夜の責任者たちの役割です。クリスマスの時使ったデコレーションがあれば室内装飾も美しくやれるでしょう。チョウチンを装飾用に使うことは良いですが中にローソクをつけることは禁止されておりますから注意してください。

軽飲食を出すことは自由です。なおプログラムの中にデモストレーションを入れることも自由です。各支部のMIA役員教師の方々へ、私共の心からの愛と感謝を贈ります。

二月一日「ローレルはいかに成長するか」

この日はローレルと母親たちの集りです。早くからクラス・リーダーはローレルのお母様がたに招待状を出しておきましょう。そして良く準備したプログラムを行うべきです。(此の日はエンサインとローレルが別れますのでエンサインの方は男子会長または副会長が受け持って円卓討論をやりましょう。)

エンサイン・ローレルのクラスリーダー(WMIA副会長)はエンサイン・ローレルの手引き百八十頁を参考にしましょう。

MIA会長会及び役員教師会の開き方

MIAの会長会は、YW・YMは各々の会長副会長・書記の五名より成立している。(本伝道部において第二副会長の組織はありません。但し会計書記と記録書記をおくことは認

可されています。これ等の人たちがよりなる
会長会の集りを毎月一回持つべきである。日
曜日の集会の後でも良いし、また別の曜日の
夜であってもさしつかえない。この時、支部
長会の第二副支部長に出席して載くこと。
其の会は次のようなプログラムでなされる
べきである。

・司会者

YWかYMの会長

開会の祈禱者 あらかじめ依頼しておく。

1 伝道部及び地方部より送付された勸
告や通告の検討。

2 支部長会よりの勸告、あたうべき忠
告があるか否かを尋ねる。

3 先月より持ち越している未解決な事
項。

4 先月の最も顕著なできごとの報告。
今月及び来るべき月に予定されてい
る計画の調査・検討。

5 毎月の役員教師会のための計画及び
それに関係ある責任の割り当て。

6 毎週のMIA集会（祈禱会を含む）
の計画を一カ月以上前より開始す
る。

7 組織上の欠陥と問題。

8 特別及び当面の問題。

10 特別な計画と長期に亘る計画の企
画。

11 集会の決定事項の再発表の先月の集会の
記録朗読と会長の承認。

開会の祈禱 あらかじめ依頼しておく。

（讃美歌は歌っても歌わなくても良い。）

会長会役員の計画会の記録は書記がノート
を作つて総てを記録すべきである。翌月会長
の承認とサインを得る。

MIA役員教師会は、会長会とMIAのす
べての役員教師が集るはずである。勿論オル
ガニストも音楽指揮者でもある。

役員教師会は少くも一カ月に一回以上持た
れるべきである。この会において、教師養成
会を含むことがあるが、できれば役員会と別
の日に持たれることが望ましい。教師養成会
を含むと一回の役員会の時間が長くなるから
である。例えば第一週目は役員教師会であつ
て第三週目が役員教師養成会である方が望ま
しいわけである。

役員教師会は次のようなプログラムでなさ
れるべきである。

司会者 YWかYMの会長。

開会の祈禱 役員教師の中から。（前に選
んで依頼しておく）

1 霊的な話（一カ月前に依頼しておく）
2 伝道部、地方部、支部長会よりの勸
告、通告の発表。

3 前の集会の記録発表。

4 先月のMIAの反省と問題点と検討
来るべき月々に計画されている特別
活動、レクリエーション及びスポー
ツ等のための準備、責任割り当て。

6 特別な当面の問題。

7 其の他

読書課程に関する定期的な調査（ど
れ位読み終っているか）

MIAの賞状授与計画進行状態に関
する調査。

閉会の祈禱 役員教師の中から。
皆さんのMIA役員教師会が、ドロ繩、式
のものでない様に。いつもカレンダーを良く
見て、早めに計画を立てて行こう。

いつものことながら、毎月毎月の一般活動
に追われているようでは困るし、良く準備さ
れていないプログラムは見にくいものである。
責任分担を早目に定めて先々の準備に取
りかかるとすべきである。毎週集って来る人々に
興味あるMIAを紹介するのは、役員教師の
腕一つにかかっているのである。（榮子記）



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹

25

第三部 オハイオおよびミズーリ時代

第十五章 ニューヨークに於ける教会

オハイオへ移る

(千八百三十一年—千八百三十一年)

十九、トムソン支部(つづき)。この人々の中にレマン・コブレイと呼ぶ一人の男が住んでいたが、彼は当教会(改宗する前「シェーキング・クエーカーズ」の会員であった。彼は広い土地を持っていたが、彼らの受けた啓示に一致する管理人の職を占めるためコーレスヴィルの支部へその土地を引き渡すことを承諾した。ところがコブレイはまだ完全に福音の教えに改宗していなかったらしく、後に自分以外の数人の者と一しょになって叛旗をひるがえし全財産率敵の誓約を破るに至った。この事はコーレスヴィルの聖徒たちの間に混乱を引き起し、彼らが主の前に危険にさらされたのはもちろんのこと、彼らを敵のなすがままにさせた。この困難に際して、彼らはこの際何を為すべきかを知るために当時トムソンの支部を担当していたニューエル・ナイトを予言者(ジョセフ・スミス)のもとへ遣った。主は彼らに吾(われ)に「彼らわれになせる誓約を破りたれば、正にその誓約は徒(むな)となり何の効もなきものとなりぬ」、この罪の責任を負うべき人は「海の深みに溺れたらむこそかえってよかりならむ」と仰せになった。さてコーレスヴィル支部の会員たちは「レマンの境なる」ミズーリの地に旅行し、主が将来彼らに一つの所を備えたもうまでその地に於いて「世の人々の如く汝ら生計を求むべし」と命ぜられた。この命を受けるや、ほとんど直ちに彼らはニ

ユール・ナイトに導かれてミズーリへ旅立ったのである。

二十、ミズーリからの手紙。 六月の大会が終ってから数日後に五月七日附の手紙が一通オリヴァ・カウドリから届き、ミズーリに於ける自身と同僚たちの働らきに就いて知らせてきた。オリヴァはその中でレーマン人やサンタフェイに近い西部の父と言われる「ナヴァホ族」の中で働らいた彼らの働らきのことを話し、自分と同僚宣教師たちの住んでいる全地方のほとんどは「普遍救済論者、無神論者、長老教会派の会員、メソジスト派の会員、バプテスト派の会員、そのほかクリスチャンであると公表する聖職者と教区民から成り、これらが地獄のあらゆる悪魔と一しょになって、教会の長老たちに対し盛んにひどいことをする」と断言した上に「神は私がかれらをのしつた訴えを起すことを禁じたもう、応報はそれを下す能力のある神の爲したもうことであるからである」とつけ加えている。オリヴァがこれら辺境の地に住んでいる人々について明白に言い表わした見解は全くまちがっていないかった。間もなく起るいろいろな事件がこれを証明するようになるからである。

二十一、西の地方への伝道。 千八百三十一年六月のなかばごろ、前の大会で任命を受けた長老たちは二人づつ組んで西方へ旅立ち始めた。この時トマス・ビー・マーシュの同僚として選ばれたエズラ・テールは旅に出なかつたら、サラ・ジェー・グリフィンが彼の代りに行く任命を受けた。六月の十九日ジョセフ・スミス、シドニー・リグドン、マーテン・ハリス、エドワード・パートリッジ、ウィリヤム・タブルユ・フェルプス、ジョセフ・コー、アルヂヤノン・シドニー・ギルバード等の人々が相共にミズーリを指して旅立った。以上の宣教師およびここに名が出ていないそのほかの宣教師

たちはみな来るべき結果に大きな期待を抱いて各自の旅路を踏み出した。彼らの行く先はシオンすなわち新エルサレムの建設されるべき「ゆずりの地」であった。主は、彼らの旅行が終ったときこの聖なる市の建てられる敷地を啓示すると前々から約束しておられた。

第十六章 シオンの地とその奉獻

(千八百三十一年)

一、住民の性格。 千八百三十一年七月のなかばごろ、宣教師たちは西部ミズーリに到着し始め、その地に居た兄弟たちは涙と共に喜んで迎えた。当時合衆国の辺境であったこの地には、東部からの脱走者すなわち身の安全をはかるために逃走せざるを得なかつた始末におえない悪質の追放者たちが集っていた。予言者（ジョセフ・スミス）はこのことを「ほとんど一世紀もおくれた住民の墮落、知性の欠乏、残忍性、嫉妬などを目にするのはいかにも自然なことであつた」と誌している。

二、シオンに於ける最初の安息日。 千八百三十一年七月十七日、長老たちは最初の安息日をジャクソン郡ですごしウィリヤム・ジー・フェルプスが公開の説教をした。この時彼の説教を聞きに集つた人々は「地球上のありとあらゆる人種の標本」から成つていた。この集りの後でさきに信仰に入つていた二人の人がバプテスマを受けた。

三、コーレスヴィル支部の会員到着。 二・三日後にオハイオ州トムソンからコーレンヴィル支部の会員がミズーリに到着、現在カンザス市の一部になっているコー町の土地に落ちついた。

四、働らきの割り当て。

今やこの地にのこるはずの長老数人に働らきを割り当てる義務が予言者（ジョセフ・スミス）の肩にかかった。その長老の中には啓示によってミズーリの地に永住する召しを受けた者もあったが、また一方西方で伝道の働らきを終つたら東方の地へ戻れと指令を受けた者もあった。宣教師の小さな一団がオハイオからミズーリ指して出かけようとしていた時に教会に加入したウィリヤム・ダブルユ・フェルプスは、さきに主の御言葉によって（教義と聖約第五十五章）オリヴァ・カウドリを助けて主の好みともう如く「幼児らも教えを受けるため」、教会の学校のために書籍を印刷し選択し著作をする仕事をせよと命ぜられていた。彼がジャクソン郡に着くとこの命令がくり返し再び吾げられた。

またアルヂヤノン・シドニー・ギルバートは金銭を受け入れ、これから教会員の落つく土地を買うため教会の代理人となる任命を受けた。またエドワード・パートリッヂは教会の監督として彼の召しを果すはずであった。彼の大きな義務は会員たちの必要に応じて会員各々にそのゆずりの地を配分することであった。このように、シオン建設の中核としてのこるはずであった一人一人の者にいろいろの義務が割り当てられた（教義と聖約第五十七—五十八章）。

五、シオンの位置啓示される。

主はさきに約束した通りに今やそれを果したもうた。「何時の日か荒野は薔薇の如く華さかむ。何時の日か今を盛りとシオンは建てられむ。末の世に万国の民の訪い来るべき主の神殿は何所にあるならん」という問に対して主は次のように啓示したもうた。

「主なる汝の神言う。聴け、汝らわが教会の長老たちよ。わが命に従い、わが聖徒らの集る所と指示し聖くしたる地なるこの地、ミ

ズーリに集り来れる長老たちよ。この故にこは約束の地にしてシオンの市を建つべき所なり。主なる汝の神かくの如く言う。汝らもし智慧を得んとすればそはここにあり。見よ。今インデペンデンスと称えらるる地はすなわち中心の地にして、神殿の建てらるる一地点はその西方に当り裁判所より遠からざる地所にあり。この故に聖徒たちは土地を購うを賢しとす。また西の方ユダヤ人と異邦人との間を真直に走る境界線に至るまであらゆる土地を買入れ、また広野と境を接するあらゆる土地をわが弟子たちが買入れ得るならば買入るるを賢しとす。見よ、彼らがこれを得て永久のゆずりとなすは賢きことなり」（「教義と聖約」第五十七章参照）。

六、聖徒は神の律法を守るべきこと。この時下った別の啓示

（「教義と聖約」第五十八章）の中で、教会の会員たちはその国の法律を守るのももちろん自分らに与えられた主の律法を守るべきことを命ぜられた。すなわち「何人も自らを支配者なりと思ふべからず。されど神をして審く人をその聖旨のままに支配せしめよ。すなわち議する者または審判の席に坐する人を聖旨のままに支配せしめよ。何人もその国の律法を破ることなかれ。そは神の律法を守る者はその国の律法を破る要なければなり。この故に今ある権力に服従し、統治すべき権能を持ちてすべての敵を脚下に踏みつくる者の統治する時の至るを待つべし」と。

七、多くの艱難の後に祝福は来る。

シオンが確立されてその市が直ちに建てられるはずであるという考え、さらに聖徒らはあらゆるほかのものとは無関係に自分自身の法律を制定する自由があるという考えは、明らかに聖徒たちの中の或る人たちが持っていた。従つて主は前に掲げた通り律法を守ることについて訓令を与えたもう

た。主はこれより前に聖徒らを警しめ、彼らの守るべき義務とその国の要求するところについて訓えたもうた。シオンの市がその時建てられるはずでないことは主の御言葉の中に見えている、すなわち「汝らは今後来らんとする事などに関する汝らの神のみこころ、および多くの艱難の後に続いて来るべき栄光につきては、現在肉眼を以てこれを見ることを得ず。多くの艱難の後に祝福は来る。この故に汝らが大きいなる来えの冠を受くべき日は来るなり。而してその時は未だ来らずといえども近きにあり。わが予め吾ぐるこの事を心に憶え、かくして汝ら須らく心に銘じて次に来るべきものを受けよ。見よ、誠にわれ汝らに吾く、この目的のためにわれ汝らを遣わせるなり。そはすなわち汝ら従順ならむがため、またこの後来らんとすることの証をなす心構えをなさためなり。また汝ら基を開きかの神のシオンの在るべき地の証をなす光栄を賜わらんためなり」(「教義と聖約」第五十八章参照)。

これよりして、われわれは聖句の上ではその時が「近きにあり」とあつても、シオンの市の光栄と偉大さとは将来に実現するよう延してあることがわかる。これら初期の入植者たちは基を開いて、地球の果てまでも福音を宣べ伝えてからやがて来るはずである聖徒たちのために道を備えるはずであつた。その長老たちがやがて「世界の隅々より人々を押し集め」てくるからである。もし最初の働らき手たちがすべての誠命を忠実に守るならば、葡萄園の中で最初に働らくことは彼らに授けられる大きな名誉であつた。

八、土地の奉獻。コーレスヴィルの聖徒たちはコー町に落着いた。予言者(ジョセフ・スミス)はその地に於ける「シオンの基たる一軒の家を建てるため」最初の丸太をすえる手助けをした。その

丸太を運んだのはイスラエル十二の支族を表わす十二人の男たちであつた。同時にシドニー・リグドンがその土地を聖別して奉獻すべきことが祈りによって明らかにされた。

予言者は「それは出席した者たちにとって喜びの時であつた。そして将来のことをちかりと見るを得たが、その時期はまだ忠実な人々の満足するほどに打ち明けられぬであろう」と語っている。以上はすべて千八百三十一年八月の二日に起つたことである。

シドニー・リグドンがその任命に応じて立ち上り、以下の問答があつた。

「汝らは感謝の心を以て、この土地を主より与えられし汝らのゆずりの地として受け入るや」

「然り」

「汝らは、これまで汝らの地にて守りしことなきこの地の神の律法を守ると誓うや」

「然り」

「汝らは将来ここに来る他の兄弟たちが必らず神の律法を守るよう気をつくることを誓うや」

「然り」

祈り終つてリグドン長老は立ち上り「われはイエス・キリストより権能を受けたれば、イエス・キリストの御名により、この土地が未来永劫聖徒らと忠実なる主の僕べらのすべてが所有し受けつぐために聖別せられ主に奉獻せられたることを宣言す、アーメン」と言つた(教会記録歴史、第一卷一九六頁参照)。

Ⅱ アロン神権者用 学科課程 Ⅱ

第一課 「什分の一」の律法

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考ふる(五)社交的活動と會員同志の爲の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「什分の一」の律法

「什分の一」とは何ですか。誰が「什分の一」を納めねばなりませんか。何割が「什分の一」になりますか。誰に「什分の一」を納めますか。「什分の一」は何に使われますか。

教会の會員の一人のこらずと、

特に神権をもっている者の一人のこらずは「正直に」什分の一を納めるはずでありますから、今日はこの大切な誠命について考えてみましょう。故ゼームス・E・タルマッダ長老(十二使徒評議員会々員)は、次のように有益な短い記事「什分の一」についてお書き

になったことがあります。

「モーセの律法は『什分の一』を要求した」

「まことに、この要求が早くから目立っていたから『什分の一』を納めることはイスラエルの律法から始まることと誤まつて想像するようになってゐる。しかし、『什分の一』の制度はイスラエルよりも古い」

「アブラハムは戦利品の什分の一をサレムの王であつて『いと高き神』の祭司であるメルケゼデグに納めた」

(註) 創世記十四〇二十、ヘブル書七〇一―八参照

「ヤコブはその所有となるものの什分の一を主に捧げると誓約した」

(註) 創世記二十八〇二十二參照

照

「イスラエルの子らが神政国家の國民に發達した後、物で『什分の一』を納めることは、エホバを礼拝するイスラエルの民を他の國民と區別する著しい特色となつた。『什分の一』の要求は明白であり、それは富める者にも貧しい

者にも一樣に普ねく通用された」

「マキはエホバの言葉を告げて民をきびしく叱ると共に強く戒告し、主の『什分の一』を納めるときに必らず祝福があるとはげました」

「人は神のものを盗むことをするだらうか。しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでゐる。あなたがたはまた『どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでゐるのか』と言う。什分の一と、さきげ物をもつてである。あなたがたはのろいをもつて、のろわれる。あなたがたがたすすべての國民は、わたしの物を盗んでゐるからである。わたしの宮に食物のあるように、什分の一全部を私の倉にたずさえて来なさい。これをもつて私をこころみ、わたしが天の窓を開いてあふるめぐみを、あなたがたに注ぐか否かを見なさい」

(註) マキ書三〇八―十參照

「イエスは此世で導きと恵みを施しておいでになつたとき、『什分の一』の律法は、しばしば非常につまらないことを理由にして強制的に金を取り立てる、しかも承認されていないのに強制的に金を取り立てる無数の規則にとつて代わられていた。イエスは『什

分の一』を承認しておいでになつたけれども、そのほかの義務も必ず果さなければならぬことを明らかにした」

(註) マタイ伝二十三〇二十三參照。

「近年神學者、教職者、教養ある年信徒などの間に『什分の一』に関する大きな興味があらわれ、もう一度『什分の一』の制度を確立することが唱道されてゐる」

「末日聖徒が『什分の一』の律法をその歴史の早いころから守つてきていることを知るのは大切なことである。彼らはそれを古代イスラエルの間で行われたからというのでなく、またイエスの時代のユダヤ人の間の律法であり慣習であつたからというのでなく、彼らの教会に授けられた『近代の啓示』によつて厳然と確立されているから守つてきているのである」

「千八百三十八年に、主は『什分の一』の制度を立てて聖徒らに、自發的にこれに納めるようにし、『什分の一』とは聖徒らが得るところの一割であるとはっきりお定めになつた。主は、

「これを以てわが民が爲す什分の一の始めとなすべし。まずこれを爲して後、かくの如く什分の一

を納めたる者は、以後毎年彼らの得る全利益の什分の一を納むべし。これを以て、わが聖なる神権のためにする彼らの守るべき永久的定法となす」とお言いになった(註)「教義と聖約」百十九〇

三十四参照

「聖徒らが『什分の一』を納める方法およびこれが分け与えられまた教会の仕事に使われる径路はとくに説明してある」

「今日末日聖徒イエス・キリスト教会では、昔のように、『什分の一』が神の定めたもうた収入制度になっていて、これによって教会をつくっている会員という団体が必要となる財政上のことがまかなわれる」

「昔のように、今日でも『什分の一』は自発的な、自由意志による『ぎせい』であって、現世の権力によって強制的に取られるものでもなく、また罰金そのほかの物質的の刑罰によって強行されるものでもない」

「その責任は自分できめるものである」

「それにもかかわらず、固い決意を以てこの律法を守る働らき人(働らいて金を得る人々)は、教会の中で正しい会員であると主張

する権利があり、また会員が靈的に発達するために与えられた啓示の言葉を守り行っていると言言することができる」

「人間は与えることを学ぶことが肝要である。この訓練に対する規定がなければ、真の人間を造る学校の教科課程は非常に不完全である。人間の知恵は『什分の一』という簡単な計画以上に公平な企画、社界の必要に応じて個人が寄附することのできる公平な企画をつくることができない。誰でも皆その収入に比例する金高を与えるように勧誘されて、規則的にまた組織的に金を出すことができる。」

「与えるという精神は『什分の一』を聖くする。教会の物質上の活動は、このようにして聖くされた『什分の一』によって続け行われる。とくべつな且つすぐれた祝福が『正直』に『什分の一』を納める人々に約束されている。これらの祝福は誰でも受けることができるものである。主の御業にあつては『貧者の一燈が富者の万燈』にまさる」。

「『什分の一』は人間が此世で自分の思うままに保ちまた利用することのできる財産に対して払えと言われている使用料である。人

間は一時的の保管者、財産の貸借人であつて、万物は万物を創りたもうた主なる神の所有物である。」

「末日聖徒の信するところによれば、『什分の一』の制度は彼らを守り行つために神が定められたのであつて、神の御ことをのべひろげることにあづからせていただいていることを、まこと祝福であると思つてゐる。この制度を守り行ふことによつて会員の一人一人と教会自身も共に富み榮えてゐる」。

「『什分の一』は教会にとつて簡単にして有効な収入の律法であつて、それを定められて以来成功のうちに運営されている。われわれ教会員の間では、『什分の一』を納めるの間によつて、教会の集りて寄附金を集める必要がなくなり、印刷物によつてまた音声によつて教会のメッセージを宣べひろげることができ、生きている者にも死んだ者にも為になる神殿の建築とその維持とを、ほかの方法ではとうていできない程度に行うことができる」

(註)

「モルモン教の活力」デ
ームス・E・タルマツヂ
著、二〇六—二〇九参照

第二課 「安息日を聖くせよ」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考ふる(五)社交的の活動と会員同志の爲の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「安息日を聖くせよ」

日曜学校がすんだら何をしましょうか。また聖餐会がすんだら何をしましょうか。私たちは日曜日に、魚釣りが狩りかピクニックに行きましょうか。私たちは自動車で遠出をするか、映画を見に行くか、ボールゲームに行るか、海岸へ行って泳ぐか、遊园地の盛り場へ車を駆りましょうか。私たちは日曜日にテレビに見入らましようか、または学校の宿題をやりましようか。

以上は年の若い男の教員が誰でも度々きかれる質問であります。この地球上で主なる神さまを公けに代表する者として、アロン神権者の一人一人はみな、日曜日にはどのような行いをするように

主が期待しておいでになるかをまだ年の行かないうちに知って、主の期待なさる通りに生活することを決心しなくてはなりません。

私たちの教会の「標準聖典」の中で、主なる神さまは「安息日を守ること」について、主の予言者に主の誠命を誌させておいでになります。アロン神権者の一人一人はみなこの神の命令をよく知っていないけれどもなりません。人に一番よく知られている聖句は「十誡」の中に言われている聖句であります。

「安息日をおぼえてこれを聖とせよ」

(註) 出エジプト記二十〇八参照。

ここに、日曜日にしてよいこととしてはならないことを判断する鍵があります。もしも、提議された活動が私たちの日曜日を聖くするものであるならば、それをしてもしよしい。もしも、提議された活動が日曜日のねうちのあるものであっても、それが聖くなければ、してはならないものであります。

そこで「何の日曜日を聖くするか」とたずねられるではありません。「聖い」という言葉の意味を

きめるには、次の質問に「然り」と答えられなければなりません。(一)提議された活動は「神の御国」を強くするものでですか。(二)それは為になる活動ですか。(三)それは私をもっと善いクリスチャンにしますか。(四)それは私のもっている「回復された福音」の証詞を強めるものでですか。(五)それが主なる神を思い起す役に立ちますか。

主なる神さまは、私たち教会の会員がどのように「日曜日を守る」か、今日の状態に合うようさらに指図を与えて下さいました。予言者ジョセフ・スミスは神から授かった命令を次のように誌しました。

「汝なおさら充分に世の汚れに染まざるよう、祈りの家に行きわたるが聖日に汝の聖性を捧ぐべし。それは誠にこの聖日は、汝命ぜられて働かざるを休み、いと高き者に礼拝を捧ぐべき日なればなり。さりながら、汝の誓言は正しく毎日常に神に捧げられざるべからず。されどこの主の聖日に於ては、いと高き者に汝の捧物と聖式とを奉りて、兄弟たちに向い主の前に於て汝の罪を告白するを忘るべからず。而して汝この日には他に何事をも為すことなかれ、ただ汝が断

食を全かしめんとため、言換うれば汝悦びを以て充されんとため、真心をこめてその食物を支度することのみを為すべし」

(註)「教義と聖約」五十九〇九一十三参照。

主なる神が下さったこの勧告はアロン神権者の一人一人がのこらず学ぶべきもの、多分この五節をみな暗誦するまで学ぶべきものであります。

多くの善い男の会員たちは、これらの五節を暗誦することが、日曜日を正しく守る方法をきめることに役立つ不断の源となったことを知っております。

現代の生活は複雑でありますから、私たちが毎日直面するあらゆる活動について一々特殊な規則をあてはめることは必ずしもできることではありません。

しかし、もし私たちが主なる神のたまうた主な原則を知ってさえ居れば、日曜日に映画やショウや野球に行こうか行くまいかを自身にたずねる必要はないでしょう。

そのかわりに、私たちは「どうしたら私たちはこの日曜日に私たちの隣人の生活を一番善くすることができるか」、「どうしたら私たちは、私たち隣人に奉仕をする備

えをするに必要な正しい精神と礼拝の精神とを発達させることができるか」と自身にたずねることができま

す。
御言葉に含まれている正しい諸原則を理解する上に、アロン神権者たちは、六代目の大管長ジョセフ・フィールディング・スミス長老によつて教会にたまわった多くの教えと共に、次の一つの教えも知らなくてはなりません。

「少年や青年たちは、彼らが安息日にアイスクリーム・スタンドやレストランのまわりをうろついたり、ゲームをしたり、馬車を駆つたり、魚釣り、銃猟、または競技遠足遠出をしているとき『誠心から断食』しているのではない。このようなのは彼らに『世の汚れに染まざるよう』にする行為でなく、むしろ彼らから主の豊かな約束をとり去り、喜びの代りに悲しみを与え、義しい行いから来る平安の代りに不安と心配とを与えるものである」。

「われわれは週日に遊びをし心ゆくまでレクリエーションを楽しもうではレいか。しかし、安息日には仕事を休み、礼拝を行い、祈りの家へ行って聖餐にあずかり、誠心から食事をいただき、『完全

なる地球」がわれらのものとなり、この世に在っては平安を次の世に在っては「永遠の生命」を得るよう、専ら神に仕えまつるうではないか。

(註)「福音の教義」ジョセフ・F・スミス著、三〇九頁参照。

第三課 「断食日と断食献金」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考える(五)社交的活動と会員同志の爲の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「断食日と断食献金」

誰が断食日を守るのですか。
誰が断食献金を納めるのですか。

断食献金は何に使われますか。
断食日の律法を守る者たちに与えられる明らかな靈的物質的の祝福は何々ですか。

「われまた汝らに一つの誠命を与えう。すなわち、汝ら今より後祈りと断食とを続けて行へし」

(註)「教義と聖約」八十八〇

七十六

バプテスマを受けて教会員になつた人々は一人のこらず断食と祈りの律法を守る義務があります。その中でもアロン神権をもつて

いる会員、特に執事くらゐ断食日に関係のある会員は少いでしょう。

教会のステーパー部では、ワード部の監督にあつた指令の中にも、断食の福祉計画手引きの中にも、断食献金を集める執事の責任について事ここまかに長々と書いてあります。

教会の伝道部では、ステーパー部やワード部としばしば事情が違つていますから、その指令もそれほど事ここまではありません。しかし、大ていの伝道部や支部では、聖徒の家へまわつて行くことが執事にできるなら、執事たちが断食献金を集めます。

アロン神権者の住んでいる所ではどこでも、アロン神権者の一人一人は毎日の第一日曜日二度食事と断食、節約した金を貪しい人々のため、断食献金として教会へ納めるのであります。

教会の指導者たちは、前に「教義と聖約」から引用した誠命に従うよう聖徒たちを戒める指令をた

くさん出しておられます。第七代の大管長ヒバー・J・グラント長老は次のように言われました。「末日聖徒の中で毎日一度二回の食事を断つて断食する人々は、その靈に多くのめぐみを受けて主イエス・キリストの福音を信ずる信仰の力が強くなる。まことにすばらしい靈の祝福を受けるのである」と。

また第六代の大管長ジョセフ・F・スミス長老は

「主がこの律法を定めたもうたが、この律法は簡單で完全で、しかも道理と英知に基づいている。そしてこの律法を守る者は必ずしも良い結果にめぐまれる。断食することによつて肉体は靈に従う故に、人はこれによつて聖靈との交わりを助けられ、わが国の人々がきわめて必要としている靈の強い力を必ず与えられる。

「断食には常に祈りが伴うから、この律法を守る人々はいつも神に近づくことができ、彼らに少くとも月一回は多忙な此世の仕事から心を靈の事に向け、實際的な純い汚れない宗教と直接に接触し、父を失つた子供たちや寡婦を訪問して、此世の罪惡から遠ざかることを納得させる。宗教と

はいろいろな誠命を信するだけでなく、その誠命を信するところに眞の生命があるからである」と適切な説明をされました。

(註)「福音の教義」二八九—二九〇頁参照。

断食と祈りによつて靈の力がひときわ強くなることのきわめて好い例は新約聖書の中に見られます。

或るとき、イエスのお弟子たちが、惡靈に悩んでいる子供からその惡靈を追い出そうとしましたが失敗しました。そして、なぜ私たちは惡靈を追い出すことができなかったでしようかとイエスにおたずねしたとき、イエスはお弟子たちを戒しめて、あなたたちは信仰が欠けていたからだと言ひになり、次のように十分な説き明しをして下さいました。

「しかし、このたぐいは、祈りと断食によらなければ追い出すことはできない」と(マタイ伝十七〇二十一)。

断食の律法を守る末日聖徒たちは、それによつて多くの靈的祝福をめぐまれる上に肉体についても祝福を受けます。断食をすることによつて、彼らは大多数の人々がいつも陥る「過食」からその体

を休めることができます。

主なる神さまは、聖徒たちに断食して祈れと仰せになされただけでなく、毎月一回守るべき断食日を教会に設定なさいました。昔は、毎月第一土曜日を「断食日」と指定していた時がありました。

しかし、今日は種々の大会のためにその月の断食日を調整する必要がありますがいかがり、毎月第一日曜日に断食をする習わしになっていきます。

バプテスマを受けて教会の会員となった人は一人のこらず、主なる神さまが全教会員、富んでいる人も貧しい人も八才以上になった、一般に言って全部の会員の為に、この断食日の律法をお定めになったことを忘れてはなりません。しかし、赤ん坊や小さな子供に断食をさせるのは賢明ではありません。

子供たちについてジョセフ・F・スミス大管長は

「小さな子供たちは無理に断食させるより、断食するかしらないかを聡明に選ぶことのできほど成長したときにこの原則を教えて守らせる方がよろしい」とお言いになりました。

(註) インブルームメント・エ

ラ誌第六卷一四六頁参照

貪しい人々に必要な物を与えるために、断食日の律法の非常に意義のある大切な部分は断食献金であります。教会の会員が、断食日に連続二回の食事を断つてそれによって節約することのでき始金を断食献金として教会へ納めることは、主なる神さまのみこころであり、教会の教義であります。

この断食献金は、全教会を通じて、非常に困っている聖徒たちを助けるために使用されます。このことは聖徒に物質上の救いを与えるための素晴らしいまた立派な原則であります。

教会の会員である私たちが一人のこらず、只今から始めて、忠実に神の誠命を守り断食を行い、祈りを捧げ、正直に什分の一を納め、常に汚れのない清い心をもち、あらゆる点で真理と正義を履み行うならば、天にまします父なる神はかぎりなく祝福を私たちに注ぎ与えたもうにちがいありません。

第四課 「神権とは何か」

議事の順序

(一)開会の祈り(二)出席の点呼と遂行した任務の報告(三)出席全員に來週

に為すべき仕事を割り当てる(四)欠席会員が規則的に出席する方法を考える(五)社交的活動と会員同志の為の活動をするための諸計画(六)定員会のレッスン(七)閉会の祈り

「神権とは何か」

あなたの友だちが神権についてたずねたら、あなたは何と云って話しますか。

神権は、ほかの教会の会員がもっていないどのようなものをもあなたに与えますか。

神権の権能は、この地上に住んでいる男の人たちにかぎって与えられますか。

私たちの教会の会員が、非教会員である友だちに私たちの教会の組織を話して聞かすとき、

「神権とは何のことですか」とよくきかれます。

「神権は私たちの友だちに理解しにくい教会組織の一部分であります。それは私たちが往々ごくはつきりと説明することができないためでもあります。」

「神権」のあらゆる意味は誰にも完全にわかって居りませんが、これまで私たちが与えられているいくつかの解り易い定義もしくは説明は、主なる神が人間に下さつ

たこの大きな賜を理解するのに役立ちましょう。

教会が会員に与えている最も普通の定義は多分「神権とは、主の御名によって行うため人間に与えられた権威と権能」という言葉でしょう。これは、「神権」を与えられた男の人は福音の儀式を執り行う権能があるということであり、また、「神権」をもっている人は福音を宣べ伝える権能ももっております。

「言葉を換えて言うと、神権とは人(男)が福音の律法に従う人々のために種々のことを執り行う神の権能であって、神はその人(男)の行ったことを自らが行ったものと認めたもう」

(註) 「小神権と教会制度」ジョセフ・B・キーパー著

二頁参照。

広い意味で「神権」とは「神の御子の聖い位」であって、「神の御国」に住む者たちは「神の御子」と共にこの「神権」をもつ。予言者ジョセフ・スミスは「神権」の意味を理解する助けとなるよう更に次のように教えました。「神権は永遠の原則にして、神と共に永遠より存在せり。さればその齡に始めもなく終りもなく永

遠に存在すべし。福音が人に授けらるるとき神権の鍵は常に天よりもたされたり」と。

(註) ジョセフ・スミス著「教

会歴史」第三卷三八六頁

主なる神さまはまた、「神権」をもっている人(男)は天使たちの導びきとめぐみを受け、父なる神さまと御子イエス・キリストとの臨在をうけることができる状態に置かれると啓示なさいました。

(註)「教義と聖約」十三、百

七〇十九参照。

第三代大管長ジョン・テイラー長老は

「神権とは何であるか。神権とは天上にても地上にて行われる神の統治権である。何とならば、天上にても地上にてもその力、働らき、もしくは原則によって万物が支配され、その力によって万物が支えられ維持されているからである。それは万物を支配する、すなわちすべてのものを指揮し、すべてのものを支え、また神と真理とが共同するすべてのものと関係する。それは神が天上に於ける諸々の霊たちと地上に於ける男の人たちに委託したもうた神の権能である」と言われました。

(註) ミレニヤルスター誌九〇

三二二頁参照。

また第五代大管長ロレンゾ・スノウ長老はこれにつけ加えて

「われわれが委託されている神権は、天の父なる神が現代の人々に光と英知と賜と権能と靈的物質的の救いを伝えようとなさっている媒ちもしくはは径路である」と教えて下さいました。

(註) ミレニヤルスター誌二〇

三十九参照。

神権と神権を帯びている種々の職員が守るべき義務が誌してある多くの短い章句を除き、神権に関する私たちの知識の大部分は「教義と聖約」の第二十章、第八十四章、第百七章の三つの章の中に誌してあります。アロン神権およびメルケゼデク神権をもっている人々がこの章を規則正しく度々読むのはよいことでしょう。これらの章を読んで度々勉強するきには、神権をもった会員は誰でも、神権の中の職に按手聖任されたことによりまた福音を履み行ふことによって生ずるすばらしい祝福と機会と責任とについて知ることができます。

原稿募集



「聖徒の道」はあなたの豊さとともに成長するものです。どうぞ積極的にご投稿ください。

■信仰と証詞に関する体験について

■二分半の話から、模範的なもの

■ヤング・ジェネレーションの企画と原稿を

■支部だよりは毎月五日までにとどきますように

編集部

第一長老定員会

新年おめでとうございます。

門松に、縄、内に雑煮を祝い、衣服を整え家族揃って、それぞれ敬意を表しあう、お正月も、何か日本人が、何百年間、受け継ぎ、受け渡して来た伝統が、伺えるようでございます。会員及び、その家族の物心両面の福祉を図らんとする定員会も、旧年度に於て、組織の面では、会長、第一副会長、第二副会長が揃い、グループも東京中央支部、東京南支部で組織され、それぞれグループ、リーダーも、聖任されました。この組織を中心に、学習塾、反物販売等二三の事業を、行い、又地方部大会、支部訪問を通じて、一部遠隔の会員を除き、直接、面識を深めて参れました。

本年度は、各地に、グループを組織し、会長書記と共に、各グループ、リーダーを聖

任し、強力な組織のもとに、一段と各会員に直接、経済的、精神的御援助が図れますよう体制を確保して参りたいと思います。その為にも、北海道を始め、各地で、皆様と、肌を接し、お互いを、確認し合えるべく、大会参加、支部訪問を、遠隔の地迄、進めようと、考えています。

各長老諸兄のご理解を通じて、定員会が、一段と充実し、定員会が目的達成への道を、歩めますよう、本年度も、宜しくお願い致します。

尚昭和三十七年度の、神権者レッスンは、末日聖徒イエス・キリスト教会四大特色の一つであるモルモン経でございます。金版、見証者、譚訳等、限りなき不思議な力をもつ、この聖典を、研究し、私達も、反省、あるいは確認して、今年度を、悔いなきよう、歩みましょう。昭和三十一年が、会員及び家族の方々にとって、豊かな年で、ございますようお祈り致します。

メルケゼデク神権

教師と生徒併用「モルモン経の読 読書教材

み方の手引き」

第一課

月 日

「高仙なる真珠」ジョセフ・スミスの著二〇一―七十五、モル

- モルモン経のとは、一段と各会員に
びらの頁にある「三人の特別な見証者の証言」と「八人の特別な見証者の証言」。
- 読書教材の簡単な内容説明
モルモン経を完全に理解するためにはジョセフ・スミスについて何ほどかの知識を持つことが必要であります。ジョセフ・スミスはモルモン経を書かなかつたけれども、彼こそ近代に於いて「ウリムとトムム」を用い、また「神のめぐみと能力」とによってモルモン経が写し取られた古代の記録を譚訳した人であります。モルモン経の研究をするためのはしがきとなるこのレッスンの読書教材は、このようにジョセフ・スミスの生活とその仲間たち、とくにモルモン経を出版する前の間の生活とその仲間たちに関係があります。読んでいくうちに、ジョセフ・スミスが予言者として召されたことにふさわしい彼の性質と特性についてとくに注目をして下さい。
- 読書のときに考えるべき要点
(一)ジョセフ・スミスの両親は誰ですか。またその両親はどのような人柄の人でしたか。
(二)ジョセフは始めて声を出して折って、その結果「最初の示現」を受けましたが、始めて声を出して折るようになったのはジョセフ・スミスの若いころに起ったどんな重要な出来事によるの
- モルモン経が真実な聖典であることについて三人の特別な見証者と八人の特別な見証者となつた特別な願われをよく知ること。

ですか。

(三)「最初の示現」のときの重要な点を述べなさい。ジョセフ・スマスは誰々を見ましたか。またどんな特別な言葉がジョセフ・スマスに伝えられましたか。

(四)ジョセフ・スマスは天使モロナイの姿かたちを述べるときにどんな言葉を使いましたか。モロナイがジョセフ・スマスに伝えた特別な言葉はどんなことでしたか。天使モロナイは、最初ジョセフ・スマスに現れてから二十四時間のうちに合計何度現れましたか。

(四)マーテン・ハリスの言った言葉によると、彼がチャールス・アントン教授をたずねているうちにどんな事が起りましたか。

(四)オリヴァ・カウドリはモルモン経訳に際して、どんな援助をジョセフ・スマスに与えましたか。千八百二十九年五月十五日どんな重要事件がこの二人に起りましたか。

(四)ジョセフ・スマスの生涯のうちに、次の出来事はいつ起りましたか。

(四)彼の誕生 (四)最初の示現

(四)天使モロナイの最初の現われ (四)エマ・ハールとの結婚 (四)モ

ロナイからモルモン経の原版を始めて得たこと (四)マーテン・ハリスがモルモン経の原版からの写しをチャールス・アントン教授のところへ持参したこと (四)始めてオリヴァ・カウドリに会ったこと。

(四)モルモン経が真実の聖典であることを証しする三人の特別な見証者は誰々ですか。これらの人々が受けた顯われの重なる特色はどんなことですか。

(四)八人の特別な見証者は誰々ですか。モルモン経の原版に関してこれらの人々はどんな経験をしましたか。

(四)三人の特別な見証者はモルモン経についてどのようなことをとくべつにとりあげて証しましたか。

(四)このレッスンで考察したいいろいろの出来事のもっている意義はどのような意義ですか。

「教師のために提示した要点」
第一課

教材

「高価なる真珠」ジョセフ・スマスの著二〇一―七十五、三人の特別な見証者と八人の特別な見証者の証言。

「読書のときに考えるべき要点」の考察

(一)予言者ジョセフ・スマスの両親はジョセフ・スマス(初代)とルシイ・マック・スマスでした。この二人は神と聖書とを固く信じていた、けんそんな、よく働らく人々でした。

(二)このころ種々の宗教復興運動が盛んに行われたため、ジョセフ・スマスはどの教会に加わるべきかについて迷っていました。

ジョセフの家族のうち四人はすでに長老派の教会に加入していましたが、ジョセフはメソジスト派の教会へ加わりたという感じをいくらか持っていました。この問題を解決しようとしていたうちに、ジョセフは聖書の中から次の聖句を読みました。

「汝らの中もし知恵の欠くる者あらば、惜しむことなく、また咎むることなく凡ての人に与うる神に求むべし。然らば与えられん」(ヤコブ書一〇五参照)。

そこでジョセフは、どの教会に加わるべきかをきめようと努力している際、この約束が本当かどうか試してみようと決めました。そしてこの決意の結果、森の中へ入って祈ること

になったのです。

(三)ジョセフ・スマスは森の中へ入って、始めて声を出して祈ろうとしたとき「目に見えぬ世界から来た」或る者のためにほとんど力が尽きようとなりました。しかし、全力を振りしぼって神を呼び求めた末、この力から解放されて、太陽よりもキラキラと輝やく一つの光の柱を見ました。この光の中に彼は父なる神と御子イエス・キリストの御二方を見たのであります。天からお下りなされたこの御二方はジョセフ・スマスに声をかけて、どの教会にも加わってはならぬ、彼らはみな間違っているからであるとお言いになりました。

(四)ジョセフ・スマスの著二〇一―七十九参照)。

ジョセフ・スマスは天使モロナイのことを「このお方の全身はいいつくされぬ程栄光に満ちその顔はまことに電の如くキラキラと輝やいていた」と言いました。天使モロナイは空中に立ち、非常に白く輝やく衣を着ていました。モロナイはジョセフ・スマスに、近づくの丘に埋めてモルモン経の原版の事を告げ、その中には「この大陸(ア

メリカ)の原住民」の記録がのっていると言いました。今や成就されようとしている聖句を、聖書の中からいくつか抜き出して告げた後、モロナイは原版と一しょに埋めてある「ウリムとトミム」についてジョセフ・スミスに指示を与え、それから天へ昇って行ってついに見えなくなりしました。

モロナイは千二百二十三年九月二十一日の夜に三回、つぎつぎとジョセフ・スミスに現われ、その翌日も二回現われましたから、二十四時間内に合計五回ジョセフ・スミスに現われました。

(四) マーテン・ハリスはニューヨークのチャールス・アントン教授のところへ、モルモン経の原版から写し取ってあった文字をもって行つて見せました。その時アントン教授はそれらの文字が真正の文字であるという証明書をマーテン・ハリスに与えました。ところが、その文字が一人の天使によつて明らかにされた一組の版から写された文字であることがわかると、アントン教授は前に渡した証明書をとり返して寸々に破いてしました。そ

して、その原版の一部が封じてあると告げられたとき、アントン教授は「封じてある書物は読めん」と言いました。

(註) 末日聖徒はこのアントン教授の言葉を以て、イザヤ書二十九〇十一―十二およびニファイ第二書二七〇六―二十一にある予言が成就したと信じています。

(六) オリヴァ・カウドリはモルモン経が譌訳されているうち、主任の書き役として働きました。千八百二十九年五月十五日、当時青年であったジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリはバプテスマのヨセフの訪ずれを受け、アロン神権の位に按手聖されました(ジョセフ・スミスの著二〇六十六―七十五参照)。十二月の二十三日に生まれました。最初の示現」の起つたのは千八百二十年の春であつて、その時ジョセフ・スミスは十四才を越えた少年でありました。天使モロナイは始めて千八百二十二年九月二十一日に現われ、それから四年後の千八百二十七年九月二十二日に、モルモン経の原版をジョセフ・スミスの手

にわたしました。その間、千八百二十七年一月十八日にジョセフ・スミスはエマ・ヘールと結婚していました。千八百二十八年二月にマーテン・ハリスはモルモン経の原版から写した文字をアントン教授のところへ持って行き、千八百二十九年四月五日にジョセフ・スミスは始めてオリヴァ・カウドリに会いました。

(六) モルモン経が神の言葉を誌してある聖典であることを証しする三人の特別な見証者はオリヴァ・カウドリ、デビッド・ホイットマー、マーテン・ハリスの三人でした。千八百二十九年六月の末日、以上の三人はジョセフ・スミスと共にニューヨーク州フエイヤットの近くにあるピーター・ホイットマー所有の農園内の森の中へ入つて行きました。次はそこで起つた事を誌したジョセフ・スミスの記事であります。

「上記の誠命(教義と聖約第十七章)を受けてから間もなく、われわれ四人すなわちホイットマー・ハリス、デビッド・ホイットマー、オリヴァ・カウドリおよび私自身は森の中へ分け入つ

て、主の約束したもうたことの成就、すなわちかの金版を一目見せていただけることを、熱烈な謙遜な祈りによつて得ようとすることに相談一決した。よつて私たちはホイットマー氏の近くにある一つの森を選び、そこへ行つてひざまずき、熱烈な信仰をもつて、全能の神にかねてのお約束を実際に現わしたまふと祈り始めた。打ち合せによつて私が最初に声をあげて天の父に祈りを捧げ、つづいて他の三人が互いに祈つた、しかし、最初の祈りでは神のお恵みのしるし、すなわち神のお答えがなかった。そこで、再び前と同じ順で各自が順番に神の御名を呼び、熱烈に祈りを捧げたが、この度もまた前と同じく何のお答もなかった。

二度ともお答えがなかった。で、マーテン・ハリスは、かれの言葉によれば、かれがその場に居合わせるから、私たちの願いがきき入れられないのだと信じて、自分はその場から引きさがるべきと申し出た。よつてハリスはその場を去り、私たちは三度ひざまずいて祈りを捧げたところ、この度は祈ること数分

ならずして、じきに私たちの真上の空に著しく輝く光が現われた。そして見よ、一人の天使が私たちの面前に立つておられた。

天使はその手にかの金版を携えておられた。そして私たちにそれがよく見えるように、またその上に刻まれた文字がはっきり見極められるように一枚一枚めくって見せられた。

それから、その天使はデビッド・ホイットマーに呼びかけて「デビッドよ、主とその誠命を守る者と共に幸福あれ」といわれたが、すぐそのあとで、私たちの頭上に輝く光からひときわ高く声が聞えてきた。

「これらの金版は、神の能力によりて現われ、神の能力によりて譚訳せられたり。汝らの見たる金版の譚訳は正し。されば、われ汝らに命ず、今汝らの見聞きするものを証しせよ」と。

さて私はデビッドとオリヴァを残して、マーテン・ハリスのあとをつけたが、かれがかなり離れたところで熱烈に祈っている姿をみつけた。しかし彼は間もなくまたかれの祈りは主に聞かれなかったと語り、自分も

また私たちがたった今受けたと同じお恵みを受ける望みが叶うように、私にせひ一しよに祈ってくれと熱心に祈った。そして私はかれと共に願いは叶えられた。それは私たちがまだ折り終らぬうちに、先と同じ神の顯示が私たちの眼の前に開けた。少くとも私にはそれは二度目であった。そして私はもう一度前と同じことを見かつ聞いた。これと同時に、マーテン・ハリスが明らかに喜びに恍惚として充分だ、充分だ。見えた見えたと大声上げてとび上り「ホザナよ」と神をたたえなどして非常に喜んだ。(教会歴史第一巻、五十四—五十五頁参照)。

(四) 八人の特別な見証者はクリスチャン・ホイットマー、ジェコブ・ホイットマー(二代目)、ジョン・ホイットマー、ピーター・ホジ、ジョセフ・スミス(初代)、ハイラム・スミスおよびサムエル・H・スミスでありました。三人の特別な見証者に天使の現われがあった後、ジョセフ・スミスは上記の八人にモルモン経の原版であるモルモンの金版を

見せました。この八人はその金版を調べて見、手で触ってました。その後すぐに八人は証詞の言葉に各自の署名をしました。が、この証詞は今まで出版されているモルモン経のどれにもなっています。

(五) 三人の見証者は次のことを証しました。

(一) 一人の天使が彼らにモルモンの版を見せた。

(二) その金版は神の賜と能力とによりて譚訳されたとはっきり宣もう主の御声を聞いた。

(三) 彼らの見聞きしたところを証しせよと主によりて命ぜられた。

(四) もしも人々が主を信ずる信仰を充に現わして、神が正しく且つ彼らに必要であると思し召す祝福を願うなら、主は彼らをめぐみたもうにちがいありません(ヒラマン書十〇五)。

(五) 神はまた彼らの信仰と神のみ業とを証しする見証者を用意なさいます。「すべての事がらは、ふたりか三人の証人の証言によりて確定する」(コリント後書十三〇一、使徒行伝十〇四十一—四十二参照)。

「生徒のために提示した要点」 第二課 月 日

読書教材

(一) この生徒用手引きの附録A「モルモン経に関連する重要な記録版」。

(二) モルモン経の中で、特別な見証者の証言の前にのせてある紹介の記事。

(三) 聖書の中にある次の参照事項創世記十一〇一—九、四十九〇—二十一、二十六、イザヤ書二十九〇—二四、十一—十四、エゼキエル書三十七〇—十五—二十、ヨハネ伝十〇—十五—十六、使徒行伝十〇—四十一—四十二、コリント後書十三〇—一、黙示録十四〇—六—七。

レッスンの目的

(一) 現在のモルモン経と、五組の主な古代の記録版との関係を学ぶ。

(二) モルモン経の三つの主な英語版に関する知識を与える。

(三) 聖書の中にあるいくつかの予言とモルモン経が世に現われたこととの間にある関係を示す。

読書教材の簡単な内容説明

モルモン経は内容が複雑であるけれども比較的読み易い書物である

ります。モルモン経の内容が複雑であるのは、主としてそれが長い時期にわたって多くの人々が記録したいくつもの記録を抄録したものであるからです。またモルモン経が比較的読み易いというのは、現在のモルモン経は二三の例外を除いて系統的にまた年代順に整頓してあるからです。五組の主な古代の記録版は直接モルモン経と関連をもっています。それはすなわちレーバンの真鍮版、イテルの金版、ニーフアイの大版、ニーフアイの小版およびモルモン版の五つであります。このレッスンを学ぶに当っての読書割り当ての一部は、生徒たちが現在のモルモン経とこれら五組の記録版との関係を理解する役に立つように計画してあります。その他の部分は次のことに関係があります。(イ)モルモン経が世に出ることによって成就した聖書の予言(ロ)現在のモルモン経を含めて三つの主な英語版があること。

アイの小版、モルモンの版です
質問
(イ)これらの版の大体の起原はいつですか。
(ロ)その主な内容は何が書いてありますか。
(イ)現在のモルモン経との関係。
(ロ)将来用いられることに關する予言は何と言つてありますか。
(イ)次に挙げる聖句はモルモン経、モルモン経に現われている国民、またモルモン経の世に出ること、どのような関係がありますか。
(イ)創世記十一〇一―一九 (ロ)創世記四十九〇二二―二六
(イ)イザヤ書二十九〇二四、十一―十四 (ロ)エゼキエル書三十七〇十五―二十 (ロ)ヨハネ伝十〇十五―十六 (ロ)黙示録十四〇六―七 (ロ)使徒行伝十〇四十一―四十二、コリント後書十三〇一―四
(イ)モルモン経は最初何年に出版されましたか。
(ロ)次の版に於いてどのような改訂が主になされましたか。(イ)千八百七十九年版 (ロ)千九百二十年版

「教師のために提示した要点」
第二課 月 日
教材
(イ)この生徒用手引きの附録「モルモン経に關連する主な記録版」
(ロ)モルモン経の中で、特別な見証者の証言の前にのせてある紹介の記事
(イ)聖書の中にある次の参照事項
創世記十一〇一―一九、四十九〇二二―二六、イザヤ書二十九〇二四、十一―十四
エゼキエル書三十七〇十五―二十、ヨハネ伝十〇十五―十六、使徒行伝十〇四十一―四十二、コリント後書十三〇一、黙示録十四〇六―七
「読書のときに考えるべき要点」の考察
一、(イ)レーバンの真鍮版
大体の起原はおそらくエジプトへ逃れたヨセフのころと思われる。その理由とするところは(イ)この版は明らかにエジプト語で書いてある(モーサヤ書一〇三―四参照) (ロ)この版はヨセフの子孫が保存していた(ニーフアイ第一書五〇十四十六参照)。この版は紀元前六百年を以て中止されたと思われる。

主な内容。レーバンの真鍮版にはユダヤ人の記録とリーハイの先祖の系図がのつていました。(ニーフアイ第一書 三〇三参照)。また世の始めから紀元前六百年に至る数々の予言、この中にはヤコブ、ゼノス、ゼノク等れたヨセフ、ゼノス、ゼノク等のした偉大な予言があります。またモーセの五書ものつていました(ニーフアイ第一書三〇二十、五〇十一、十三〇二、ニーフアイ第二書四〇一―二、ニーフアイ第三書十〇十六―十七参照)。この真鍮版は現在の旧約聖書よりも完全であることを除いて、現在の旧約聖書と紀元前六百年までは明らかに同じ内容をもっていました(ニーフアイ第一書十三〇二十三参照)。現在のモルモン経との関係。ニーフアイの小版の著が真鍮版の記事から引用したとき、それはモルモン経の中のものになっています。ニーフアイの大版の著書が真鍮版の記事から引用したとき、それはモルモンは自分の抄録の中に含めなくなりませんでしたから、これらの記事はモルモン経の中に出てきます。将来用いられることに關する予

言。

この真鍮版は「けっして錆び腐つてしまわず」して、「あらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、あらゆる人々に」伝わります（ニーフアイ第一書五〇七―一九、アルマ書三十七―二四参照）。

（ニ）ニーフアイの大版

大体の起原はおそらく紀元前五百九十年と思われる（ニーフアイ第一書一九〇―一四参照）。このニーフアイの大版は、モルモン死によつて、紀元三百八十五年ごろ記録が停止されたと思われます。

主な内容。ニーフアイの大版にはニーフアイ人の「歴史を完全に記録してありました（ニーフアイ第一書九〇二〇四、ニーフアイ第二書四〇一四、ヤコブ書一〇二―三参照）。またリハーイの系図ものつており（ニーフアイ第一書十九〇二参照）、また復活なさったキリストの教えの「大半」がのっていました。ニーフアイの大版にはニーフアイの小版の記録が停止されるまで、主として俗事に関する歴史が記録されていましたが（ニーフアイ第一書十九〇四、ヤコブ

書三〇十三参照）それからは俗事に関する歴史も宗教に関する歴史も共に記録する「統合的」の記録版となりました。

現在のモルモン経との関係。ニーフアイの大版にのっている各書はモルモンが抄録をしましたから、ニーフアイの大版の始めの部分を除きあとは全部モルモン経にモルモンの抄録としてのつています。

（註）マーテン・ハリスがジョセフ・スミスの所から持つて行つて紛失した百十六頁の原稿は、ニーフアイの大版からモルモンが抄録したものの始めの部分（ジョセフ・スミスが譚話したものでした。更に詳細を知るためには「教会歴史第一巻、二十一―二十二頁を参照のこと」）。

（三）ニーフアイの小版

大体の起原はおそらく紀元前五百七十年と思われる（ニーフアイ第二書五〇二十九―三十二、ニーフアイ第一書十九〇二―三、五―六参照）。ニーフアイの小版はその記録を紀元前三十年ごろに停止しました（オムナイ書二十五、三十参照）。主な内容。ニーフアイの小版は、ニーフアイ人の宗教上の歴史

を誌したものであるから、神についていろいろのことがのつています（ニーフアイ第一書六〇三・五、十九〇六参照）。またイエス・キリストが導きとめぐみを施したもうたことの「大半」がのつており（ニーフアイ第一書九〇四、ヤコブ書一〇四参照）、レーバンの真鍮版からとつた数章もこの小版の中に入れてあります（ニーフアイ第二書四〇一五、十二―二十四参照）。

現在のモルモン経との関係。ニーフアイの小版は、現在のモルモン経の百三十三頁（英文、（モルモン言まで））に含まれている。

将来用いられることに關する予言。

イノス書十六節にある予言は今や実現の途上にあります。

（四）イテルの金版

大体の起原はおそらくバベルの塔の時代と思われる。もつとも、もつと早く記録が始まつたことも考えられます。イテルの金版はジェレドの氏が亡びた時にその記録にその記録が停止されました（イテル書十五〇三十三―三十四参照）。

主な内容。イテルの金版にはジェレドの民の俗事に関する歴史と宗教上の歴史とが記録されており（モーサヤ書二十八〇十七）、また地球の創造の記事ものつています（イテル書一〇三―一五参照）。

イテルの金版にはまたジェレドの兄弟の見た示現のことものつていますが、ジェレドの兄弟はその示現の中でこの地球上で起るはずの主な出来事を見せられました（イテル書三〇二十五参照）。この示現についてモロナイは「ジェレドの兄弟に示されたことより優れて大きなことはいまだかつて人に示されたことがない」と述べました（イテル書四〇四参照）。

現在のモルモン経との關係。

現在のモルモン経にのつて「イテル書」はモロナイがイテルの原版から抄録したものであります。またモルモン経の原版の封じてある部分の多くは、イテルの金版からの教えと書き物から成つています。

将来用いられることに關する予言。

イテルの金版の中から少くとも一部分が「異邦人がその悪事を

悔い改めてわが前に清くなる後
明らかにされるはずであります
(イテル書四〇一一七参照)。

(四) モルモン版

大体の起原。モルモンの版は紀
元三百三十四年ごろにモルモン
がつくったものであって、その
記事は紀元四百二十一年ごろモ
ルモンの息子のモロナイがつづ
けることを停止したと思われま
す。主な内容。モルモンはニー
ファイの大版にのっている各書
から全部抄録して自分のつく
った版にのせました。モルモンの
息子のモロナイは、父のつく
った記録の簡単な総括をそれにつ
け加え、次にイテル書から抄録
をつくり、最後に「モロナイ書」
と名づけた短い書をつけ加えま
した(モルモン書八一九、イテ
ル書一〇二、モロナイ書一〇一
—四参照)。主はモロナイに命
じて、モロナイがモルモンの版
に誌しておいた、イテルの版か
らの抄録を一部分「封ぜよ」と
お言ひになりました(イテル書
四〇四・五、五一—一参照)。
現在のモルモン経とこの関係。
モルモンの版にのっている記事
は、次の二つの場合を除き、全
部現在のモルモン経についてい

ます。(四)モルモフが抄録したニ
ーファイの大版の始めの部分
(前の註を参照のこと)。(四)封じ
られた部分。

将来用いられることに關する予
言。

モルモンの版の封じられた部分
は、世の人々が義しくなり「ジ
エレドの兄弟の如く」にキリス
トを信ずる信仰を喜んで現わす
時に明らかされたにちがいあり
ません(イテル書四〇六—七参
照)。

二、(一)創世記十一〇—一九。ジェ
レドの国民は「全地の面」に散
らされた民の一部でありました
(イテル書一〇一—五、三十三
—四十三参照)。

(二)創世記四十九〇—五十二—二十
六。ヨセフは「実を結ぶ若木」
であつて、ヨセフの子孫は「か
きねを越える」はずであり、ま
た「永遠の山」の地にその嗣業
を受けなくてはなりません。リ
ーハイもイシメルも共にヨセフ
の子孫でありましたから、この
予言はリーハイの移民団が太洋
という「かきね」を越えてわた
り、アメリカ大陸にニーファイ
人とレーマン人の大國家を建て
たとき、一部分実現したと思わ

れます。

(註)リーハイはヨセフの息子
のマナセの裔(アルマ書十〇
三参照)、然るにイシメルは
ヨセフの息子のエフライムの
裔であつた(説教集第二十三
卷一八四—一八五頁参照)。

(三)イザヤ書二十九〇—二四、十一
—十四。主の民の一群は(アリ
エル、すなわちエルサレムの如
く)亡ぼされるはずでありまし
たが、彼らの記録は保存されて
「塵の中より低き声を出して」
語り、「親しき靈を有つもの」
の如くであるにちがいありませ
ん。その記録の一部分は封ぜら
れ、一部は學問があつてもその
記録を読むことのできない者に
わたされるにちがいありませ
ん。

この予言はニーファイ人の記
録によつて実現しました。すな
わちニーファイ人國家は事実上
亡びましたが、ニーファイ人の
記録は保存されて「塵の中より」
世にあらわれ、モルモン経とし
て出版されましたが、そのモ
ルモン経は聖書を読んだことのあ
る私たちに對し「親しき靈を有
るもの」であります。この記録
の一部分は封じてありますが、

封じてない部分から写し取つた
文字をチャールス・アントン教
授のところへ持つて行つたら、
教授は「封じてある書は読め
ん」と言いました。

(註)「高価なる真珠」ジョセ
フ・スミスの著二〇六十三—
六十五頁参照。

(四)エゼキエル書三十七〇—十五—二
十。昔、書物はみな巻物の上に
文字をきるしてそれを一本の棒
に巻きつけたのであります。ユ
ダの木(棒もしくは杖)、「聖書
は本来ユダの子孫について語つ
ています」と、ヨセフの木(棒
もしくは杖)、「モルモン経はも
ともとヨセフの子孫のことを語
つています」は、主の御手で一
つになるはずであります。

(註)この問題について更に知
りたいときは、ヒュー・ニブ
レイ著「モルモン経の新研究」
を参照のこと。

(四)ヨハネ伝十〇—十五—十六。ニ
ーファイ人は、善き羊飼ひである
キリストの訪れを受けるはずで
あつた「他の羊」の中の人々で
した。救ひ主は、復活者として
ニーファイ人を訪ずれたときに
この約束をお果しになりました。
(ニーファイ第三書十五〇

十一—二十四参照。

イエス・キリストはマタイ伝十五〇二十四に於いて明らかに言っておいてなるように、福音を異邦人に伝えることによってこの約束をお果しになったのではない。

黙示録十四〇六—七。黙示者ヨハネは一人の天の使が永遠の福音をたずさえて中空を飛ぶのを見ました。この予言者は天使モロナイがモルモン経をジョセフ・スミスに授けたことによつて実現しました(教義と聖約二十七〇五、百二十八〇二十を参照)。

(㉔)使徒行伝十〇四—十二、四コリント後書十三〇一。神は見証者を通して働きたともう、すなわち「すべての事がらはふたりか三人の証人の証言によつて確定する」。聖書はイエス・キリストが神の御子であることの証人であり、モルモン経はもう一つの証人である。

三、モルモン経の初版五千部は千八百三十年の三月に出版されました。原稿は千八百二十九年の秋に印刷所へ行っていましたが、千八百三十年の三月になつて印刷製本が終つたのでありま

した。

四、現在のように章と句とに分かれた、註をいくつかつけたモルモン経は千八百七十九年の版からです。

五、千九百二十年になつて、現在のように一頁を二つの欄に分け、各章の見出しをつけ、各頁の下に年号を入れ、改訂した脚註と発音語彙、索引等を備えた「英文モルモン経」が出版されました。

「生徒のために提示した要点」
第三課

読書教材

ニーフアイ第一書、一—七章のうち、一—十三頁。

レッスンの目的

(イ)リーハイの移民団に属する主な人々を紹介する。

(ロ)信仰のもつ積極的な力を例を挙げて証明する。

(ハ)レーバンの手から得た真鍮版の内容の意義を示す。

(ニ)モルモン経が真実の聖典であることを示す証拠をしらべる。

読書教材の簡単な内容説明

モルモン経にのっている記録は、紀元前六百年ごろのエルサレ

ムに始まります。そのすぐ前に、

当時の予言者の一人であつたリーハイは、民が悔い改めないとエルサレムが間もなく亡ばされるということを主によつて示されました。リーハイが、エルサレムの滅亡を予言すると民はリーハイを憎んでその生命をとらうとしました。そこで主なる神はリーハイに警告を与えて、家族をつれて荒野へ逃れよとお言いました。このレッスンの交書教材は主としてリーハイの家族が荒野へ逃れることと、リーハイの息子たちが二度エルサレムへ帰つたことに關係があります。その一度はレーバンのもつていた真鍮版を手に入れるためであり、二度目はイシメルとその家族を説得してリーハイの移民団に加わらせるためでした。ニーフアイの大きな信仰が、二度の冒険の成功を決定したことに注目して下さい。

読書のときに考えるべき要点

(イ)ジョセフ・スミスは、ニーフアイ第一書をモルモン経の原版の中にあるどの版から譚訳しましたか。

(ロ)リーハイの妻は何という名前ですか。またリーハイの四人の息子の名前を年令順に言つて下さい。

い。

(ニ)ジョセフ・スミスはモルモン経を自分で書いたのではなくて昔の記録から譚訳したのは、ニーフアイ第一書二〇六—十の中のどんな証拠ですか。

(ハ)リーハイの一行が、自分たちは「約束の地へ導かれ」つつあるのだということを明瞭に始めて知つたのはいつのことですか。

(ニ)リーハイが比較的富んでいたこと (ロ)リーハイがイスラエルと呼ばれたヤコブの裔であつたこと (ハ)リーハイの移民団に属する人々がもとユダヤ人であつたことなどの証拠は何々ですか。

(イ)リーハイの息子たちが、レーバンに会うためエルサレムへ戻ってきた主な目的は何でしたか。エルサレムへもう一度行つてくれと言われたとき、レーマンとレシュエルは二人ともどんな態度をしましたか。この旅行中にあつたどのような例が、ニーフアイのもつていた大きな信仰を証明しますか。この四人の青年にどんな奇蹟的の出来事が起りましたか。

(ロ)レーバンから手に入れた真鍮版

にのつていた主な内容は何ですか。レーバンはどういうわけで真鍮版をもっていましたか。真鍮版の中のにのつている最後の言者は誰ですか。リーハイはこの真鍮版についてどんな予言をしましたか。

(イ) イシメルに会うため、リーハイの息子たちがエルサレムへ戻ってきた主な目的は何でしたか。(このレッスンの出来事が起つて期間は、多分数週間もしくは一カ月にわたっていると思われま)

「教師のために提案した要点」

第三課 月 日

教材

ニーフアイ第一書、一七章のうち、一十三頁。

「読書のときに考えるべき要点の考察」

(イ) ニーフアイ第一書はニーフアイの小版からとつたものです。このニーフアイの小版はモルモンまたはモロナイが書いたものでもなければ抄録したものでもありません。それですからモルモン経にのつている記録は、ニーフアイの小版にのつている原著者(すなわちニーフアイ)が一人称(私が何々をしたという書

き方)で書いた記録をジョセフ・スミスが翻訳したものであります。

(ロ) リーハイの妻の名前と、リーハイの息子の名前を年令順に挙げると次の通りであります。すなわち、リーハイの妻はサライア、息子はレーマン、レミューエル、サーム、ニーフアイであります。

(イ) ニーフアイ第一書、二章六節の「川」は英語で「river of WATER」となっており、その川にはレーマンという名がつけられました。一方、この川の流れている「谷」はレミューエルと名づけられました。またこの名前をつけた父のリーハイは、レミューエルには「汝はこの谷のうちに堅く固くびくとせず」と言い、レーマンには「この川が絶えず流れて海に入るように、汝もたえ間なくあらゆる義しさの海に流れこんでくれるように」と言っています。以上の表現は、「川」にはいつも水があり、「川」とは常に同じ名前がついており、山は「堅く固くびくともせず」と言えるが、谷に「堅く固くびくともせず」と

いう表現は見当ちがいであり、またアラビヤの詩がほとんど知られていない、アメリカ国、ニューヨーク州の西部に生れた青年の知らない表現でした。(エルサレムの南方にある砂漠地帯では「川」は雨の降った時だけ水があり、谷は砂風によって変転ざわまりないものであります。くわしくは、ヒュー・ニブレイ著「モルモン経の新研究」を参照あれ。

(ロ) リーハイは「家と相続した土地と、所有の金銀および貴重品をあとにのこして」(ニーフアイ第二書二〇四)荒野へ逃れよという、主なる神の警告を受け入れたとき始めて「約束の地へ導かれたときあるのだ」(ニーフアイ第一書二〇二十参照)とはつきり知ったことがモルモン経にのつています(ニーフアイ第一書二〇二四、一九一二十参照)。

(イ) 一十三頁まで読んで行くと、リーハイの受けついだ土地金銀、そのほか貴重品のことが、数回言っております。

(ロ) リーハイはヤコブの息子ヨセフの子孫であります(ニーフアイ第一書五〇十四参照)。この

ことは私たちが(ロ)モルモン経は主にリーハイの子孫についての記録であるから、エジプトへ売られたヨセフの子孫についての記録であること (d) 主なる神がエゼキエルに(エゼキエル書三十七〇十五―二十三参照) 向つて「ユダの木」(聖書のこと)と「ヨセフの木」(モルモン経のこと) について言つておられる言葉が、モルモン経の出現と出版によつて文字通り事実になったことを悟るときに、特別な意義をもっています(註) ヒュー・ニブレイ著「モルモン経の新研究」参照。

(イ) ニーフアイ第一書、一七章の間に見られるユダヤ人の特性と習慣とは次のようなものであります。

リーハイが主なる神にいけにえと火祭とを捧げたこと(五〇九参照)、また石の祭壇をつくつたこと(二〇七参照)、これは切石で祭壇をつくつたことなべて自然石の祭壇であつたことに注意すべきであります。

(註) 出エジプト記二十〇二十五の聖句参照のこと。

また長子相続権を含む特殊の制度が守られたこと(三〇二十八

一二十九)、家族のきづなが強かったこと(二〇四)、そのほか誓言もしくは誓約は神聖であつて拘束力があると考へていたこと(三〇十五、四〇三十一―三十七)、リーハイの息子たちが、リーハイのところへ一番先きに誰が行くかをきめるために「くじを引いた」こと(三〇十一)、モーセ、エジプト脱出にまつる数々の奇蹟、その他イスラエル人の歴史上の出来事など多くのことについて言っていること(四〇二―三参照)などであります。

リーハイが、「約束の地」を指して、エルサレム周囲の区域から少々離れたこと知ったとき、主なる神はリーハイに、息子たちをエルサレムに帰らせ、レーバンという人のもっている記録を彼から得させよとお言ひになりました。レーマンとレミュールの二人は父のたのみを聞き入れませんでした、ニーフアイとサームとはその冒険をやりますとはつきり同意しましたニーフアイ第一書三〇七参照)、四人はエルサレムにもう一度帰りました。始めの企ては失敗しましたが、一人の天使が不思議に現われ(ニーフアイ第一書二十九〇三十参照)、ニーフアイの手にレーバンを渡したので(四〇五―十参照)彼らはいつにレーバンの服を手に入れてリーハイのところへ持つてきました。

(四)レーバンのところから持つてきた真鍮版の中には、モーセの五書(明らかに旧約聖書の始めの五書すなわち創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記と同じもの)と世の始めからゼデキヤまでのユダヤ人の記録と、世の始めからエレミヤまでの予言者たちの予言とがのつていました(ニーフアイ第一書三三―三十二、五〇十一―十三参照)。

レーバンがこの真鍮版をもつていたのは彼がヨセフの子孫であつたからです(五〇十六参照)。

真鍮版ののつていた最後の予言者はエレミヤでした(ニーフアイ第一書五〇十二―十三)。

リーハイは予言をして、この真鍮版はリーハイの子孫にゆかりのあるあらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、あらゆる人々に伝わる、と言ひました。(五〇十八参照)。これらの真鍮版にのつていふことは、旧約聖書が大いなるクリスチャンにとって聖典と認められていることほとんど同じように、リーハイの子孫たちにとって聖典の言葉となりました。

(四)リーハイの息子たちは、イシメルとイシメルの家族たちを説得して、約束の地ヘリーハイの一行と共に行かせる目的でエルサレムへ戻りました。四人の息子たちはみな揃つて不平を言わずに同意したので、彼らは行つてイシメルに会い、その結果イシメルとイシメルの家族たちは四人の息子と一しよにエルサレムを出しました。しかしながらリーハイのところへ歸つてくる途中、レーマンとミューエルがニーフアイに対して謀叛を起しましたが、ニーフアイが奇蹟的になつてわめか脱がれたので謀叛はしなくなり、一行はレミューエルの谷に居るリーハイのところへ無事に歸つてまいりました。

追加の註釈

紀元前六百年ごろの近東諸国に於ける歴史上の情勢を簡単にふり返つてみますと、紀元前六百年ごろ、モルモン経にのつていふ記録がエルサレムで始まつた当時、ユダヤ王国はバビロニアの属国であつて、ゼデキヤという二十一才になる「かいらい」の王が治めていました。この当時近東に於いて強大な軍事力と経済力とをもつていた国は第一に、バロニヤであつて、バロニヤはわずか数年前にカルケデシンの戦いでエジプトを破り、バビロニアとエジプトの二大強国にはさまつてゐるこの小さなユダヤ王国(南方王国)を支配する権利をもうけていたのであります。第二はエジプトであつて、当時すでに軍事力の絶頂は過ぎていたけれども、まだ強大な文化的経済的の力をもつていました。第三はアッシリヤであつて、すでに紀元前七百二十二年ごろにイスラエル王国(北方王国)と戦つて勝ちこれを占領してしたのであります。更に戦勝の機会をねらつていました。

(注)更にくわしく知りたい方はエルディン・リック著「モルモン経註釈」第一巻、二九四―二九八頁「英文」参照のこと。

しかし、年若いゼデキヤ王は自分の国をバビロニアのために支配されたくないと思つていましたの

で、臣下の者たちと共に画策してエジプトと同盟を結び、バビロニアの支配を脱しようと考えていました。この時、神の予言者であるエレミヤそのかのほ予言者たちは、この同盟に反対をして警告を発しておりました。しかしながら、予言者たちの立場はユダヤの政治経済を指導する人々にとって好ましいものでなかったため、エレミヤは迫害をさた度々牢へ入れられました。

別の予言者リーハイは、エジプトと同盟などしたら必らず起るぞと予言者たちが言ったエルサレムの滅亡に会わないよう、エルサレムから逃れよと、主なる神の警告を受けました。モルモン経の話は、リーハイとその移民団がエルサレムを逃れて出るところから始まって、その後主に彼らの一行が約束の地へ行く旅路のことを語り、更に一千年以上にわたる彼らの子孫の歴史を説いています。

「生徒のために提示した要点」

第四課 月 日

読書教材

ニーファイ第一書、八―十五章のうち、十三―三十頁。
レッスンの目的

(イ) リーハイの見た霊夢と、その霊夢の解釈をして聞かせられたニーファイの示現の意義を示すこと。

(ロ) へりくだった、固い信仰の祈りは力があることを示す。

(ハ) 神の先見の大切なことと、神の先見の範囲の広いことを示す。

(ニ) 神の偉大な計画の中に於ける予言者たちとその予言者の果す役割を説明すること。

読書教材の簡潔な内容説明

このレッスンで興味のある読書教材は、主としてリーハイの見た霊夢と、つづいてニーファイの見た示現であって、この示現の中でニーファイは父の見た霊夢の解釈を聞かされています。リーハイの夢に出てくる主な「象徴」は次のようなものであります。すなわち「暗い物すごい荒野」、「大きな広い畑」、「木の実」、「川」、「鉄の棒」、「まっすぐな狭い道」、「暗黒の霧」、「大きな広々とした建物」などがそれであります。読書教材を読むときは、これらの「象徴」に対する解釈と、この解釈の例をあげて説明し、意味をはっきりするためにニーファイに示されるいろいろな例を見のがさないように

注意して下さい。リーハイの移民団の将来と、イスラエルの家のこりの者たちの敬礼と集会とに関し、ニーファイの見た示現の中で言われる数々の予言は、すべての聖句の中で最も著しいものに属しています。

読書のときに考えるべき要点

(イ) あなたは、何故に主なる神がこの特別な時にこの霊夢をリーハイにお見せになったと考えますか。

(ロ) 「木の実」は何の「象徴」であるか。

(ハ) リーハイの見た霊夢は、現代の人々にとってどんな意義がありますか。

(ニ) ニーファイがニーファイ第一書第九章で、「この版」(九〇一、三、五参照)と言っているのはどの版で、「ほかの版」(九〇四参照)と言っているのはどの版のことですか。

(イ) 神は将来に起こることを隅から隅まで御承知であるが、それでも将来に起こることは「前以てきまつているのではない」ということをどのように説明しますか。

(ロ) リーハイもニーファイも二人とも「イスラエルの家」を「かんらんの木」になぞらえました

(ニーファイ第一書十―二十四、十五―二十参照)。このようになぞらえたときに、次の言葉は何のことを言っているのですか。

(イ) 枝が折れて全地の上散る

(ロ) 元の自然の枝が親木の「かんらん」に接される。

(ハ) モルモン経に言っている「ユダヤ人」とはどんな人々ですか、少くとも二つの意味を挙げて下さい。

(ニ) ニーファイが見た偉大な示現の中で、救世主は地上に生を受けておいでになるうちに、東大陸(アジア)で十二人使徒をお選びになり、後になって西大陸(アメリカ)でリーハイの子孫にお現われになるとき、もう十二人の者をお選びになります。(ニーファイ第一書十一―二十九、三十三―三十四、十二〇六―十参照)。

この二組の十二使徒のうち、どちらが管理する十二使徒定員会ですか。またそのわけは何ですか。

(イ) ニーファイ第一書十三―十二に言っているのはどんな出来事のことですか。またニーファイ第一書十三―三十九に言っ

てあるのはどんな出来事ですか
(4) ニーファイ第一書十三〇、二十三
—二十八の中で「見よ、この書
物はユダヤ人から出たものである
……ユダヤ人の記録である」と
言っているのは、どのような
書物ですか。
(5) ニーファイも見た示現の一部を
記録するため「顧任」された神
の子羊の使徒とは誰のことです
か。

「教師のために提示した要点」
第四課 月 日

教材

ニーファイ第一書、八—十五章
のうち、十三—三十頁。

「読書のときに考えるべき要点的
考察」

(1) 主なる神は、リーハイの八年に
わたる困難な荒野の旅行と、約
束の地へ大洋をわたって行く長
い航海にそなえ、明らかにリー
ハイを強めようとしておいでに
なりました。今やリーハイは、
自分の移民団の旅行が、イスラ
エルの家が「全地の上に散る」
という主の大計画の一部である
とはっきりわかりました（ニー
ファイ第一書十〇—十三）。

(2) 義しい生活が人の喜びと幸わせ

と証詞を増すものであるよう
に、神の愛をあらわす木の実
は、人を幸福にするに足るもの
でありました（ニーファイ第一
書八〇—十参照）。それでリー
ハイがその木の実をとって食べた
ときに、リーハイの心は「非常
に大きな喜びに満されたから」、
「これがどんな木の実よりも好
いことが解った」ので、妻い
にもまた食べさせてやりたいと
「思い始め」ました（ニーファ
イ第一書八〇—十二参照）。こ
れと同じように、まことの教会へ
本当に改宗した人たちは自分た
ちの受けているめぐみをほかの
人々にも分けてやりたいと思
います。

(3) 現在見られる世界の傾向は、リ
ーハイの時代と同じように神と
その福音とを信じない方向へ
なっています。主なる神と神の
予言者たちの教えを捨ててかえ
りみないことが一般の習いであ
ります。まことに、神の誠命を
今日守っている人々は「風変わり
な民であると言われたいです。
しかしながら、神のみこころを
熱心に求め、聖典の教えを固く
信じて、世の誘惑にうちかつ人
々は、福音の証詞を得、その上

福音の味の良いこととすぐれ
ていることを知ることができ
ます。このような人々は、自分
の味わった福音の木の実をほか
の人々にも分け与えてあげたい
と熱心に思っています。
(4) 「ほかの版」とはニーファイの
大版を指しており、「この版」
とはニーファイの小版を指して
います。

(5) 神は広大無辺の知恵と理解とを
以て「始めから終り」までよく
知りましたもうイ（ザヤ書四十六〇
—十参照）。まことに「神はよろず
の事を知りたもうから、その知
りたまわぬことはない」（ニー
ファイ第二書九〇—二十参照）こ
とは聖典に明らかであります。
しかしながら、神が将来の出来
事をあらかじめ知りましたもう
ということは、神が知恵によつて
「これらの出来事を起したもう」
という意味ではありません。

(註) もっとくわしく知りたい
ならば、ゼームス・E・タル
マツダ長老著「キリスト・イ
エス」二十八—二十九頁（英
文）の脚註を参照のこと。

神はある状態の下に於いて人間
が何を為すかを知らたもう、し
かしながら神は善悪を選ぶ人の

自由意志をお取りになることは
ありません。「宿命」の教義は
自由意志を否定するものであり
ます。

(6) 「祈り取られる枝」は全地に散
るはずのイスラエルの族のこと
であります。リーハイの移民団
はこれらの群の一つであります
（ニーファイ第一書十五〇—十二
参照）。

「親木に接がれる元の自然の枝」
とは、異邦人を通して福音を聞
き、真の救世主を認めるように
なる（ニーファイ第一書十—十
四、十五〇—二十一参照）イ
スラエルの子孫のことを言いま
す。これらのイスラエル人は「親
木」の一部となる、すなわちイ
エス・キリストのまことの教会
の会員になるでありますよ。

(7) ユダの子孫（もっと一般的に
はイスラエルの族の一人）のこ
と。(8) この特別な時代に於ける
ユダヤ王国の民のことです。

(9) ペテロ、ヤコブ、ヨハネを頭と
する東大陸（アジア）に於ける
十二使徒は管理十二使徒会であ
りました。それは「かれらは将
来イスラエル十二の支族を裁く
者たちである」からです（ニー
ファイ第一書十二〇—九参照）。

「象 徴」

(一) 暗いものすごい荒野 (八〇七)

(二) 大きな広い畑 (八〇九・十)

(三) 木の実 (八〇十)

または「生命の木」(十二〇二五、十五〇二二—十二二二)

(四) 「川」 (八〇十三)

もしくは「汚れた水の流れ」

(十二〇十六)

(五) 「鉄の棒」 (八〇十九)

「解 釈」

神の愛 (十一〇二二—十二二二)

深い淵実は地獄

(十二〇十六、十五〇二六—三

十六)

神の言葉 (十一〇二五、十五〇二

十三—二十五)

「例」

神の御子降臨 (十一〇十三—二

十二)

罪惡と戦争

神の御子が導きとめぐみを施こ
したもう (十一〇二四—二十

五)

「象 徴」

(六) 暗黒の霧 (八〇二十三)

「解 釈」

惡魔の誘惑 (十二〇十七)

「例」

背教、罪惡、戦争、憎むべき教会、聖書
からわかり易い貴いことを取り去ること、

(十二〇一九—二十三、十三〇一九、
二十、二十九)

(七) 大きな広々とした建物 (八〇

二十三)

世の人々の高慢と智慧と空想
(十一〇三十五—三十六、十二

〇十八)

神の御子の受けたもう迫害と、神の御子
に従った人々 (十一〇二六—三十六)

ニーフアイ国民はイスラエル十

二の支族の一部でありますから、西大陸 (アメリカ) に於ける

ニーフアイ人の十二使徒は、東大陸 (アジア) に於ける十二

使徒会の使徒たちによって将来審かれるにちがいありません。

(八) ニーフアイ第一書十三〇十二に

言っている予言は、後にアメリカ大陸と呼ばれるようになった

大陸へ「コロンブス」の来ることを明らかに指しています。

「スペイン王へ送った書簡の中でコロンブスは『私は聖霊の使

者として王さまのところへ参りました』とはっきり言いました。

コロンブス自身は、神が彼の航海を思いつかせたもうたと

固く信じていました。

(註) エディン・リックス著

「モルモン經の註訳」第一卷、一四八頁 (英文) 参照。

(九) 聖書。

ヨハネ (愛されたるヨハネ) もしくは黙示者ヨハネ。

追加の註釈

リーハイの見た靈夢について。

リーハイの靈夢の中にあられた主な「象徴」と、ニーフアイ

与えられた解釈と、例とを次に示します。

パプテスマ十一月

阿倍野

秀代

望	笠	タ	タ	フ	富	藤	藤	山	山	高	佐	中	井	大	岩	藤	大	野	石
月	井	カ	カ	ジ	元	村	井	内	崎	木	伯	野	上	沢	淵	田	江	呂	田
つ	秀	カ	ト	ト	悦		政	康	貴	秀		勝	幸	照	勝	忠	真	貴	茂
や		ズ	シ	モ					美								理		
子	明	コ	コ	コ	子	勝	昭	行	子	子	毅	敏	子	子	美	昌	子	子	郎

“ 甲 ” “ 金 ” “ 広 ” “ ” “ ” “ 福 ” “ ” 旭 “ ” “ 阿倍野
府 沢 島 岡 川

前	久	乾	村	早	田	田	水	栗	木	広	波	坪	竹	高	犬	川	乾	鈴	野	上
田	保		上	瀬	村	淵	江	栖	村		多	内	中	橋	塚	上		木	村	条
弘	寿	信		智	聡	章	三	浩		信	野		正	克		亀		成	秀	勝
子	子	子	守	祥	子	二	男	郎	喬	二	武	修	征	幸	勝	助	茂	子	代	弘

〃 〃 〃 岡 〃 〃 〃 〃 〃 〃 岡 西 〃 〃 名 〃 室 〃 〃 松
三 山 町 宮 古屋 蘭 木
ノ 宮

[illegible]

孔 金 陳 洪 尹 禹 宋 林 李 崔 張 梁 朴 朴 朴 李 孔 金 金 金 金 韓 韓 河

錦 東 元 春 英 慶 炳 永 金 泰 平 信 惠 泰 尚 貞 明 鐘 真 米 浩 柄 貴

羅 模 善 植 淑 照 德 芳 子 愛 善 子 子 林 淑 政 王 淑 園 淑 順 哲 陽 明

ソール東 ソール中央 パサン

申 朴 明 林 李 李 金 李 李 李 金 金 金 金 金 金 朴 崔 崔 表 林 李 李 權

圭 炳 国 平 英 時 富 文 吉 種 順 礼 聖 大 沢 寧 石 鍾 相 炳 光 鍾 赫

東 宙 鎮 子 杓 佑 子 膳 子 善 英 順 永 變 成 峰 仁 峻 權 秀 德 煥 文

ソール西 ソール西 ソール東

梁 神 執 事 權 明 子

アゼチ アオヤマ アオヤマ ヒコサク アゼチ アオヤマ ソウヘイ アゼチ アオヤマ ヒコサク

ソール西

(韓国で二名)

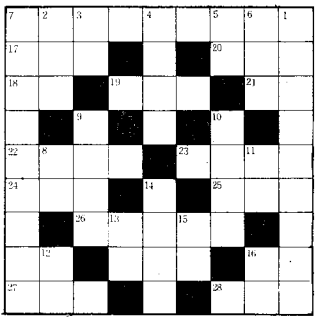
(韓国で三名)

クイズルーム ③

- 17 16 1
 駒鳥
 アブラハムの甥
 ことは何の年
- 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6
 パウロ殉教の地。
 ピッチャー投げました。
 山の向うに住んでいるもの。
 ビッチャー投げました。
 太田道灌の借りれなかったもの。
 キリストの証し人。
 ○○○○はいつか来た道。
 救い主。
 竹と梅の兄貴。
 引っくり返らぬ御用心。
 鶏の帽子。
- 5 4 3 2 1
 木を切る道具。
 ロシヤのソリ。
 鉛筆の黒い所。
 開かなければ入れない。
 謹賀新年。
 タテノカギ

- 18 とげのある花
 19 先祖を探究して正しく作りましょう。
 20 ベテラン
 21 天下のまわりもの
 22 よき○○○○びと
 23 汝らは○○○○なり
 24 塩もし効力を笑わば……
 25 ハンコ
 26 近くない町
 27 七代目の族長
 28 病人を○○○
 29 おしまい。
- 応募者数 七名
 正解者
 神尾(三宮) 清水(札幌)
 金子(東京中央)
 沼野(西宮) 齊藤(甲府)
 クイズルーム応募規定
 (1) 一月三十一日必着のこと
 (2) 正解者の名は誌上掲載します
 (3) 用紙に住所氏名明記のこと

第一回 正解 (11月号)

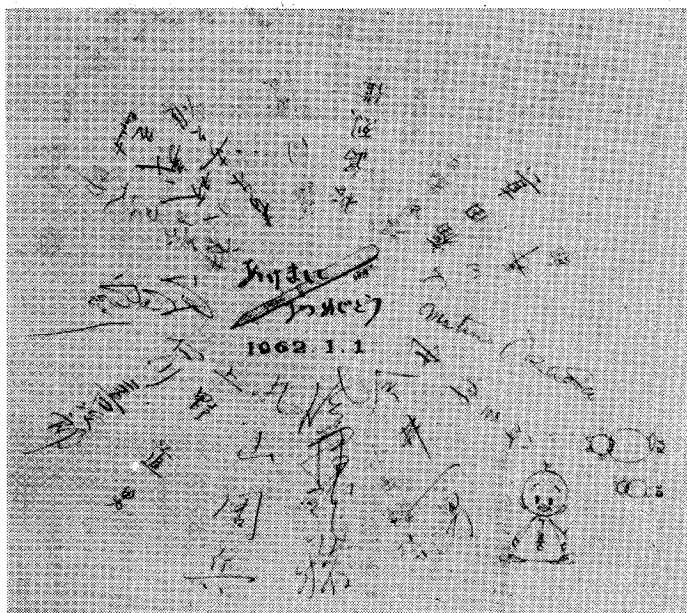


1	モ	ル	5	モ	ン	6	キ	7	ヨ	8	ウ	9	カ	10	イ
2	ロ	サ	ン				リ			10	マ		ツ		エ
3	ナ	カ			12	マ		13	ウ	14	ハ		バ		ス
	イ		14	ア		15	タ		16	ソ					キ
		15	ヘ		16	モ	ン		17	ウ		ナ			リ
19	エ		19	マ		20	ナ		21	ハ	マ				ス
22	ス		22	ナ		23	リ		24	ベ	カ		25	オ	ト
	テ		25	ナ		26	ザ		27	ア		サ			
28	ル	ス		イ		28	エ		29	ゼ	キ		エ		ル

(4)あて先 東京都港区青山北町六ノ三四
 末日聖徒イエス・キリスト教会
 「聖徒の道」編集部
 クイズルーム係

編集後記

新年おめでとございます。
かえりみれば、昨年はあわただしい記憶ばかりのこっておりますが、今年は静ひつな気分で「聖徒の道」を育ててゆきたいと思ひます。



十一月三日定例編集会議を開き、多くの成果を得ましたが、その一つとして、テキストやガイドのありかたについて意見が出され、その結果として今月のような体裁になりました。また新に英会話テキストの頁をもうけましたがいかがでしょうか。
支部だより岡町、金沢支部の原稿は都合により次号にまわします。

寄せ書きをされなかった編集委員、南城光子、佐藤護二 栄子、鈴木百合子、渡辺正雄、小高兄弟。

最後に「聖徒の道」がその名のごとく読者の一人一人に「永遠の生命」への「みちしるべ」になりましたらと編集子一同心からお祈しております。

(小林)

月刊「聖徒の道」第六巻第一号

一九六二年一月一日発行

実価 一カ年 六〇〇円

半カ年 三〇〇円

一部 五十円

編集兼
発行人

ポール・C・アンドラス

発行者

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

図 書 案 内

教義と聖約	
高価なる真珠	上質革製合本……………1100円
モルモン経	
教義と聖約	合本……………300円
高価なる真珠	
モルモン経	(新訳)……………200円
信仰箇条の研究	……………330円
モルモンとは？(新版)	……………150円
定成への道	……………200円
初等協会教科書	……………150円
総合聖句の手引	……………150円
日本系図探究要覧	……………100円
古代アメリカの生活	……………100円
旧約聖書物語	……………150円
家督権の祝福	……………100円
扶助協会手引	……………50円
求道者教育法	……………120円

日曜学校用

宗教と生活Ⅱ	……………150円
よきおとずれ	……………100円
聖書物語	……………150円
福音の実践	……………150円
聖典中の指導者	……………150円
我等の標準聖典	……………150円
古代の使徒	……………100円
福音の紹介	……………200円
シオン山の救い手たち	……………150円
教義と聖約の研究	……………100円

M I A 用

役員と指導書の手引	……………100円
モルモン経研究ガイド	……………100円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	……………120円
演劇指導者基礎知識と脚本集	……………75円
演説が上手になる法	……………150円
社交ダンス必携	……………160円
新しいフォークダンス	……………50円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌(新版)	……………400円
子等は歌う	……………100円
レクリエーション歌集	……………400円

……………注文は各支部長へ……………

支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
旭川 旭川市八条五丁目
福岡 福岡市東葉院二ノ四〇
群馬 高崎市並榎町二七五
広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
金沢 金沢市成瀬町一一ノ四 野田方集会所 労働会館
甲府 甲府市山田町六三
松本 松本市沢村町一六〇四
室蘭 室蘭市幸町八九
名古屋 名古屋市中大畑町五五七 金井方集会所 農業会館
新潟 新潟市中大畑町五五七 金井方集会所 農業会館
西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四
岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
岡山 岡山市弓野町六一

小樽 小樽市富岡町一ノ三五
三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五 電(八二一六〇二)
札幌 札幌市北二条西二四丁目
仙台 仙台市光禅寺通り二八 電(五一〇八九七)
東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四 電(四〇八一三三〇七)
東京北 東京都豊島区千川町一ノ二三ノ七 集会所 日曜学校 武蔵野ドレメ
東京南 東京都大田区南千束町二四九 電(七八二一六一三一)
東京西 東京都港区青山北町六ノ三四
山形 山形市八日町八五〇
柳井 山口県柳井市今市三九一
横浜 横浜市港北区篠原町二九 電(四九一八七七二)
普天間 沖縄宜野湾村野嵩区三二八
那覇 沖縄那覇市松尾区一三九